

石油給湯機付ふろがま 取扱説明書

エフディー ダブル イー エフ

エイエックスピー エム エス

FDW-EF470AXPMS

エフディー ダブル イー エフ

エイエックスピー エム エス ピー

FDW-EF470AXPMSP

お客様へ

本製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定される特定保守製品です。

法定点検を受けるために所有者登録を行ってください。

(製品に同梱した「所有者票」に記入し投函願います。)

もくじ

1	特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)	1~2
2	各部の名称	3~7
■外観図		3
■構造図		3~4
■リモコン		4~7
3	使用前の準備	8
■燃料		8
■給油		8
■運転開始前の準備と確認		8
4	使用方法	9~28
■はじめてお使いになる場合		9
■使用方法(給湯)		9~12
■使用方法(ふろ)		13~19
■使用方法(インターホンリモコン)		20~21
■使用方法(オプション)		22~24
■凍結予防		25~27
■使用上の注意		28
■長期間使用しないとき		28
5	安全装置	29
6	その他の装置	29
7	点検・手入れ	30~31
■日常の点検・手入れ		30~31
■定期点検		31
8	故障・異常の見分け方と処置方法	32~35
9	部品交換のしかた	35
10	仕様	36
11	アフターサービス	37
12	据付け	38~43

- 本品は一般家庭の給湯以外の目的(例えば業務用の使用・給湯以外の使用・車両・船舶への搭載)に使用しないでください。製品の寿命を著しく縮めます。
- 飲用または調理に用いないでください。



1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。



!記号は行為を指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠ 警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



⚠ 注意(CAUTION)

空だきに注意

浴槽に水が入っていることを確認してください。火災のおそれがあります。



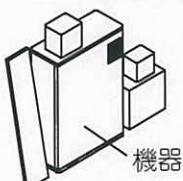
太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。



囲い禁止

機器や吹出口、給気口を波板などで囲わないでください。

不完全燃焼や火災のおそれがあります。



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、吹出口、枠上部に手などふれないでください。

やけどのおそれがあります。



高温注意

●シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。



●入浴するときは、手で湯温を確かめてください。やけどのおそれがあります。



循環口

●循環口のまわりは高温になるので注意してください。やけどのおそれがあります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに凍結予防の処置をしてください。



火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。(ほこりがたまるで湿気などで絶縁不良になり)火災の原因になります。



⚠ 注意(CAUTION)

分解修理・改造の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。



異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など
異常や故障と思われるときは使用しないで
ください。事故の原因になります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加え
たり、物をのせたりしないで
ください。また、電源コード
を束ねないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜か
ないでください。火災や感電の原因になります。



結露に注意

リモコンの運転スイッチを「切」の状態で
通水しないでください。機内に結露水が発
生し故障の原因になることがあります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に
差し込んでください。(また、傷んだプラグ
やゆるんだコンセントは使用しないでください。)
火災の原因になります。ぬれた手でのプラグの抜き差
しはしないでください。感電の原因になります。



アースについて

専用のアース(線)を必ず取り付けてください。
感電のおそれがあります。アース(線)は、ガ
ス管や水道管、電話や避雷針のアース(線)に
は絶対に接続しないでください。



不良灯油(変質灯油、不純灯油)禁止

変質灯油(ひと夏持ち越した灯油等)、不純灯
油(灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油等)
を使用しないでください。機器の故障の原因
になります。



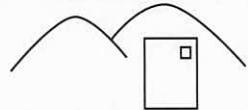
ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管は、屋外で使用しないでくだ
さい。屋外での使用は禁止されています。



標高が1,500mを超える高地では使用しない

〔空気の濃度が薄いた
め、燃焼に必要な空
気が不足します。〕



ドレン口から排出されるドレン水 を飲料用・飼育用・園芸用などに 使用しない



子供の入浴に注意する

浴槽循環口付近で、もぐらない
でください。特に小さなお子様
には注意してください。思わぬ
事故の原因になります。



お願い(NOTICE)

入浴剤・洗剤に注意

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が
腐食する原因となりますので、使用しないでください。

循環口について

浴槽の循環口(フィルタ)を必ず取り付けてください。
また、タオル等でふさがないでください。おふろの沸き
上げができません。また、機器の故障の原因になります。

凍結に注意

冬期は温かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が
凍結し、水もれや故障の原因になります。
凍結予防に必要な処置をしてください。

温泉水、井戸水、地下水を使用しない

水質によっては、機器の配管内部に異物が付着したり、
腐食して水漏れすることがあります。この場合は保証
期間内でも有料となります。

使用用途について

給湯・シャワー・お風呂をわかつ以外の用途には使用
しないでください。

マイク穴やスピーカ穴に直接触れないこと

マイク穴やスピーカ穴は非常に小さい穴ですので、故
意に触るとゴミやホコリ等がつまりマイクの感度が
おちたり、スピーカの音が聞こえにくくなり、故障の
原因になります。



サウナ、スチームサウナなどへの取付け禁止

5~40°Cの室温で使用してください。故障の
原因になります。(インターホンリモコンのみ)



スピーカに耳を近づけて使用しないこと

大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き
起こす恐れがあります。



リモコンの分解禁止

リモコンは絶対に分解しないでください。
事故や故障の原因になります。



リモコンのお手入れ

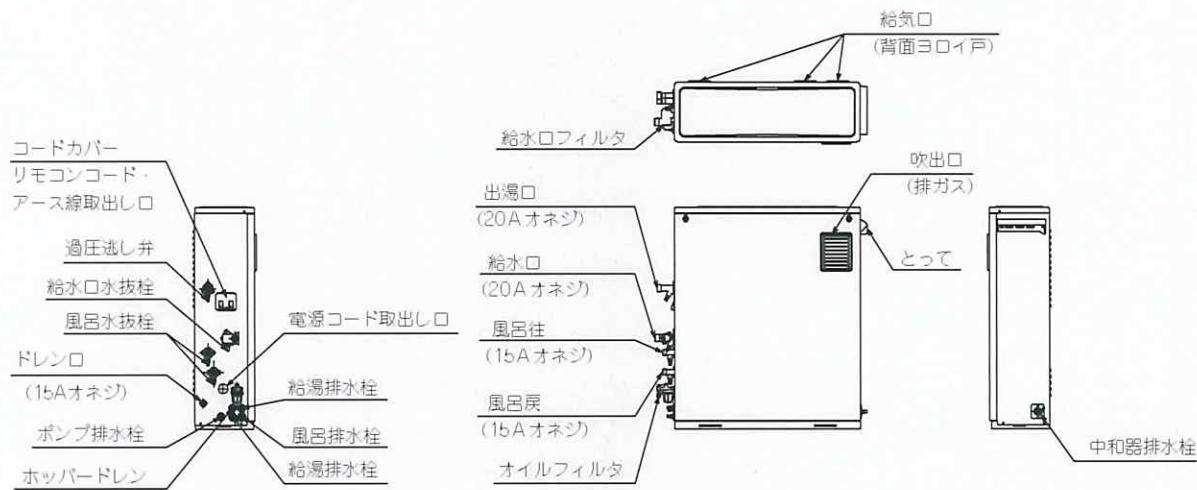
リモコンのお手入れには、ベンジンや油脂系の
洗剤を使わないでください。
変色や変形ことがあります。



2 各部の名称

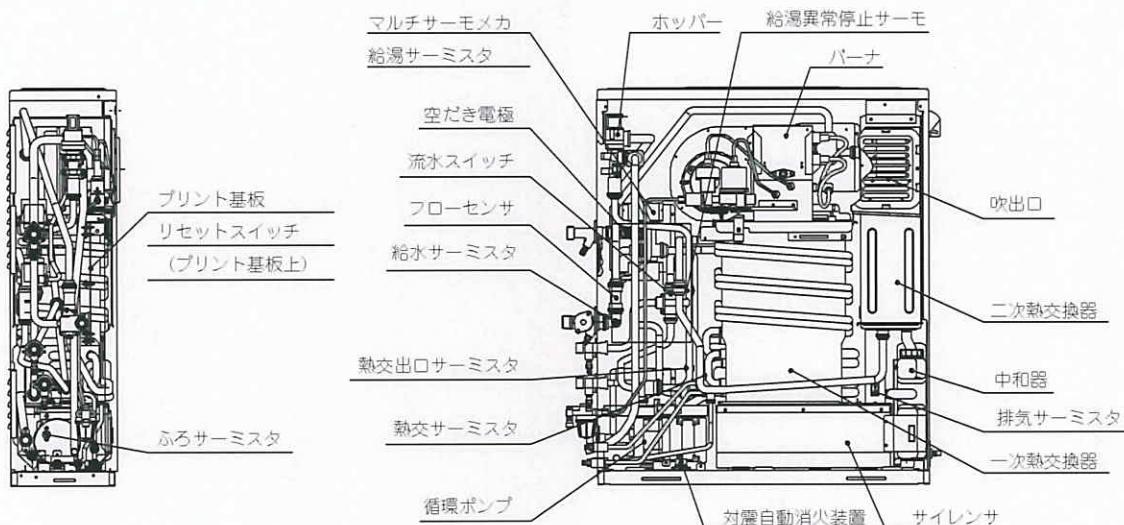
外観図

■屋外用開放形 [FDW-EF470AXPMS、FDW-EF470AXPMSP]



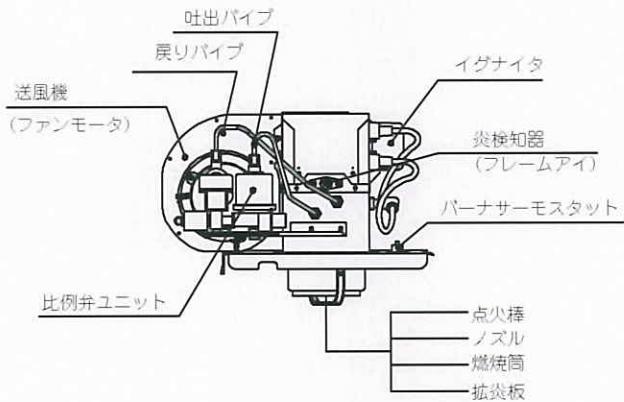
構造図

■屋外用開放形 [FDW-EF470AXPMS、FDW-EF470AXPMSP]



構造図

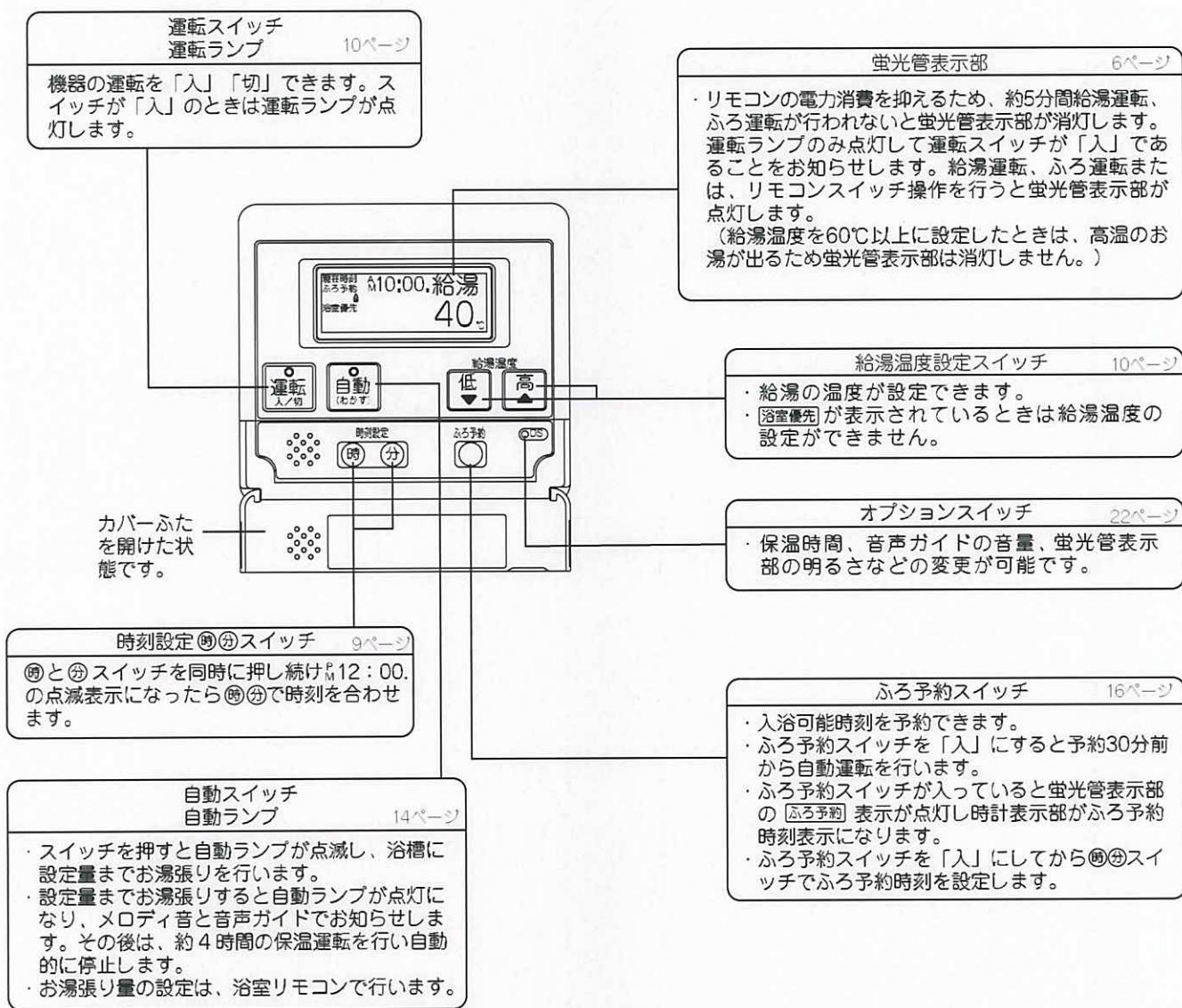
(バーナ)



リモコン【UKB-EF470AXP】

- インターホンリモコンの場合は、「通話」スイッチが追加となりますので、7ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項もご覧ください。

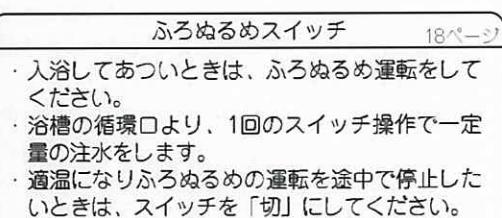
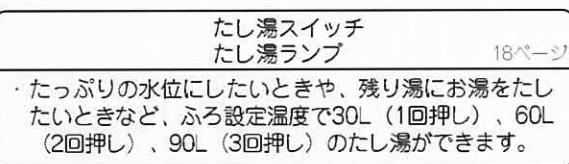
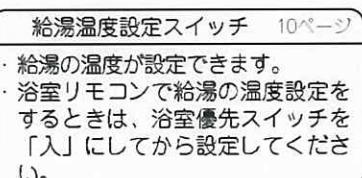
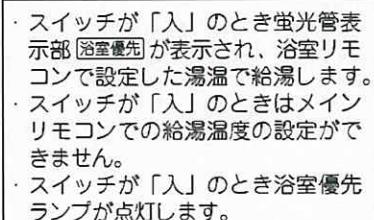
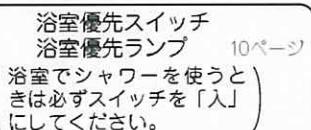
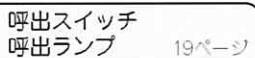
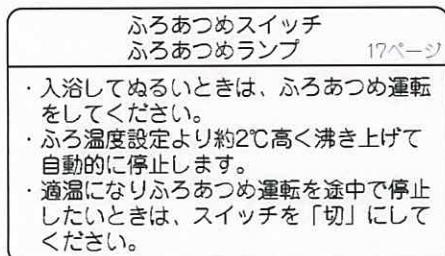
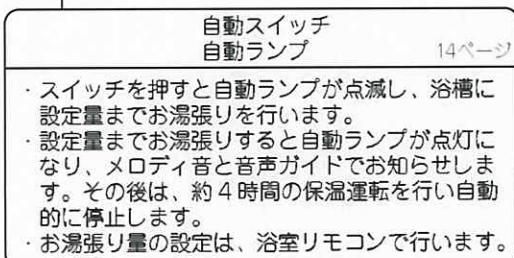
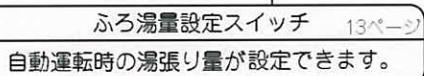
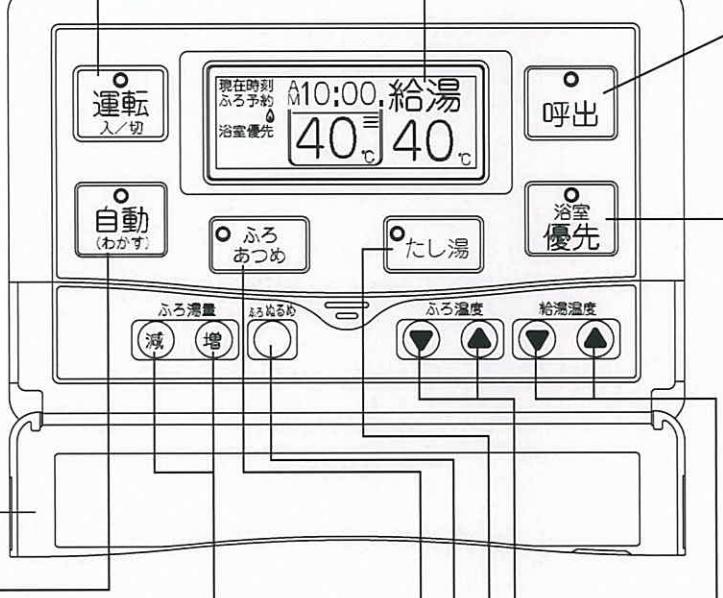
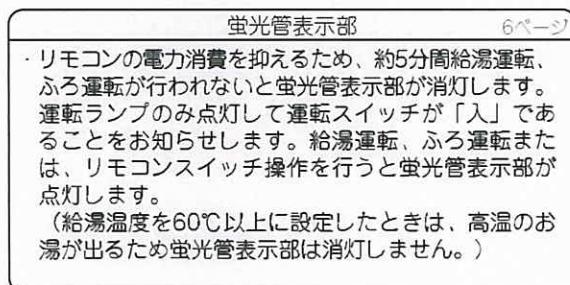
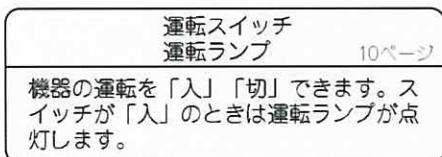
(メインリモコン)



リモコン

●インターホンリモコンの場合は、「呼出」スイッチが「通話」スイッチとなりますので、7ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項もご覧ください。

浴室リモコン

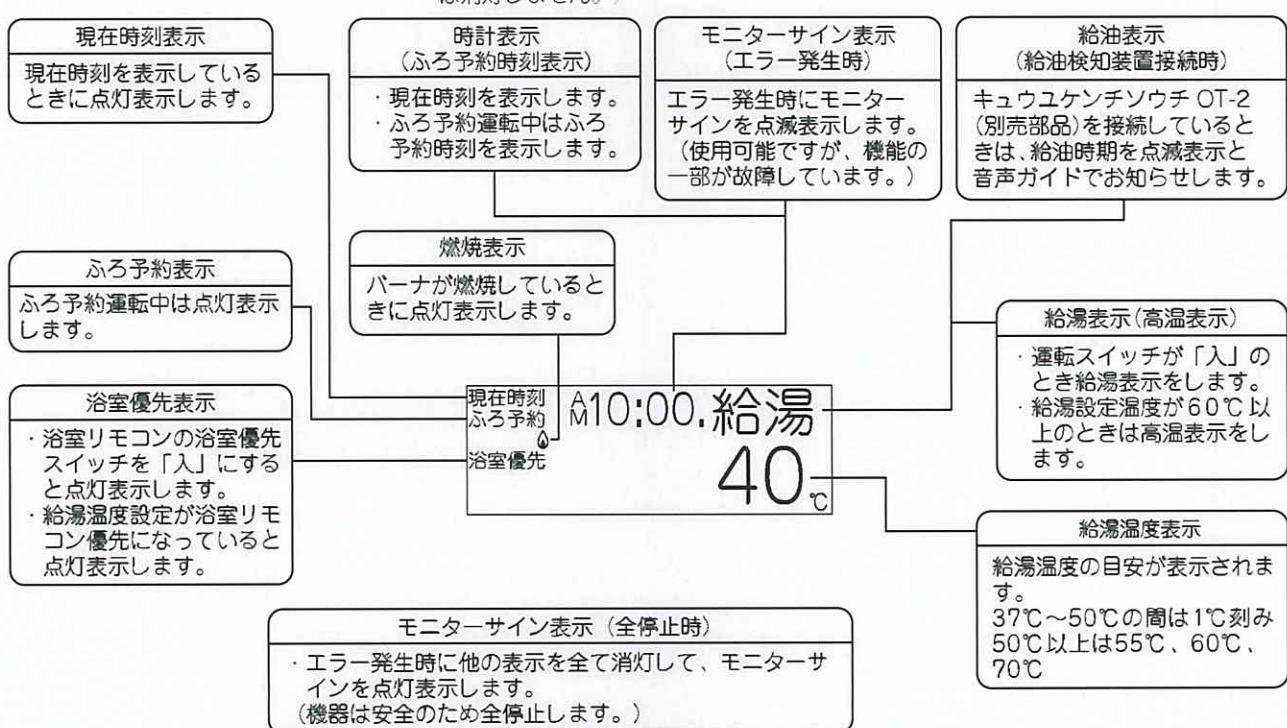


リモコン

メインリモコン蛍光管表示部

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が消灯します。

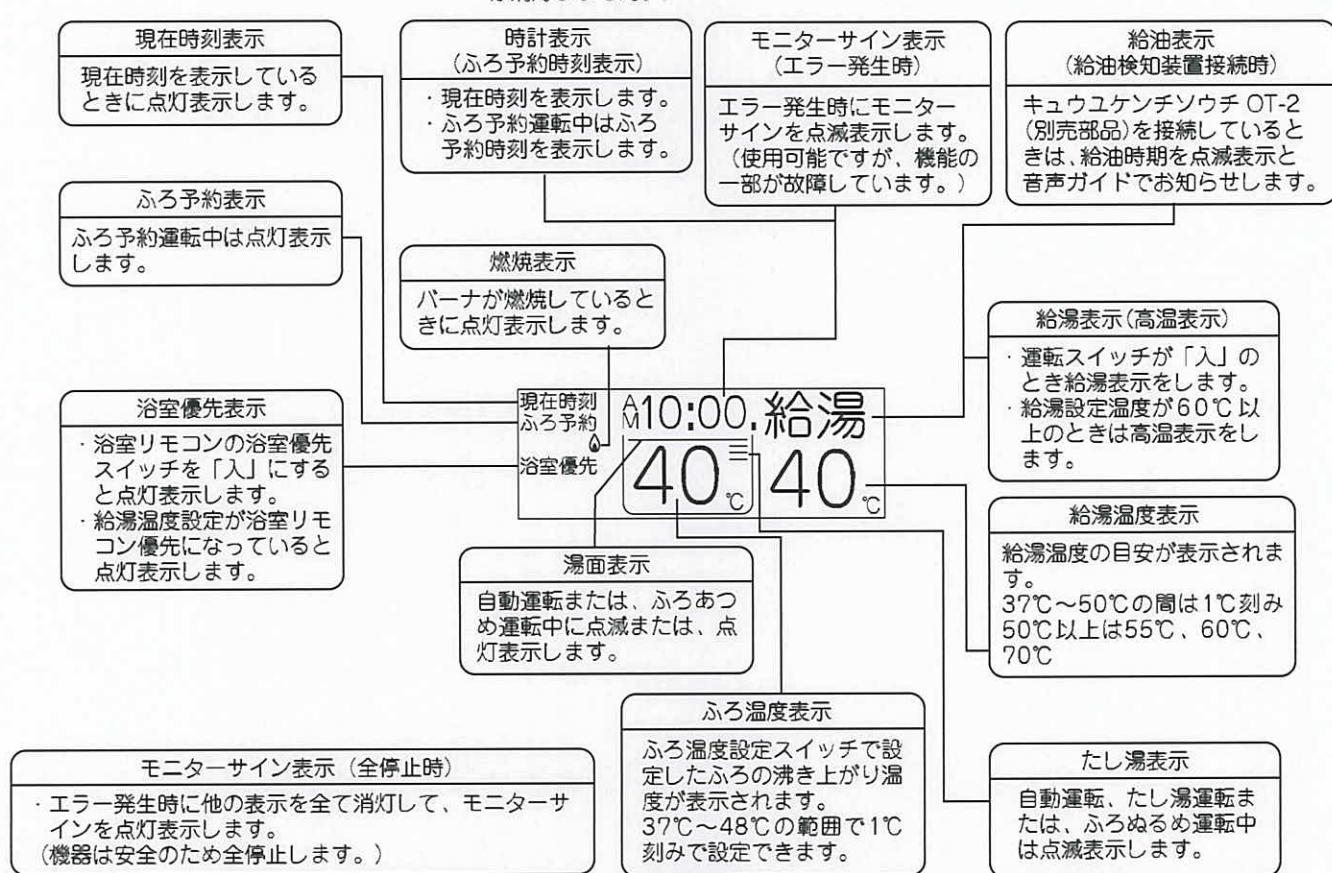
(給湯温度を60°C以上に設定したときは、高温のお湯が出るためリモコンの蛍光管表示部は消灯しません。)



浴室リモコン蛍光管表示部

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が消灯します。

(給湯温度を60°C以上に設定したときは、高温のお湯が出るためリモコンの蛍光管表示部は消灯しません。)

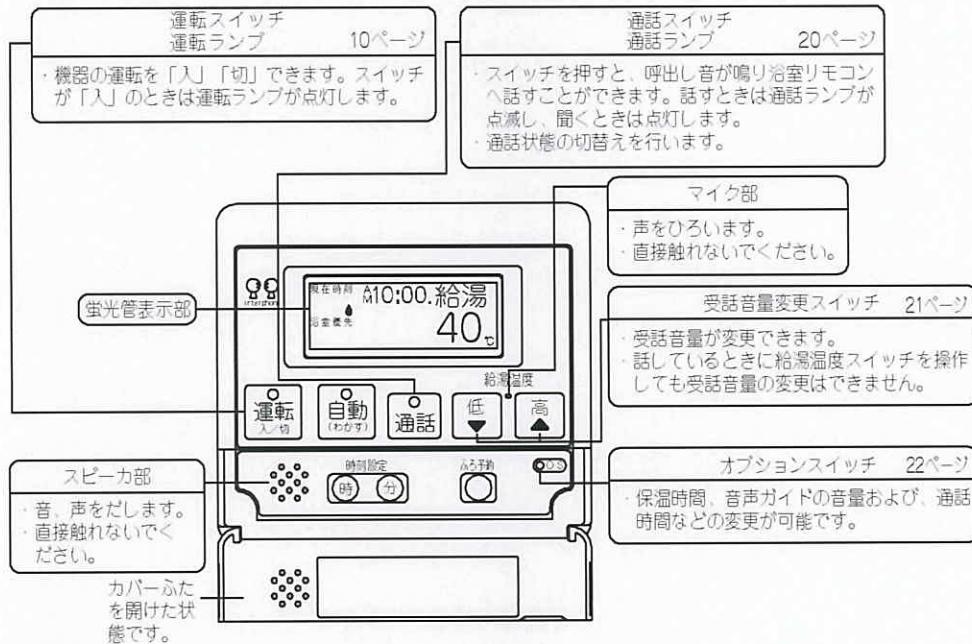


リモコン（インターホンリモコン）

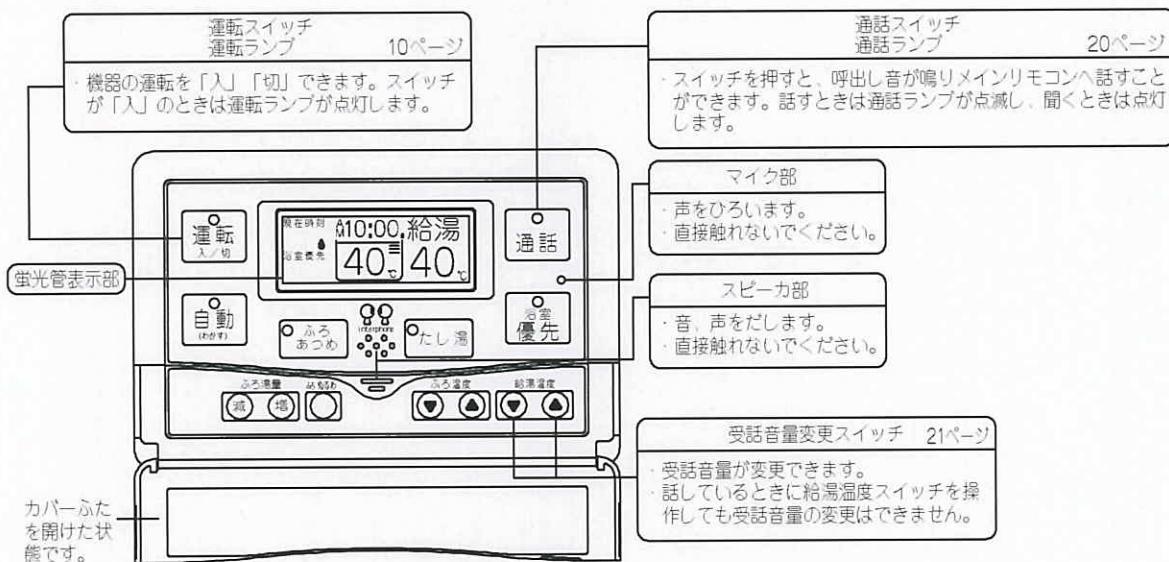
■各部の名称

●インターホン機能に関するスイッチ以外の各部の名称、機能については、4~6ページをご覧ください。

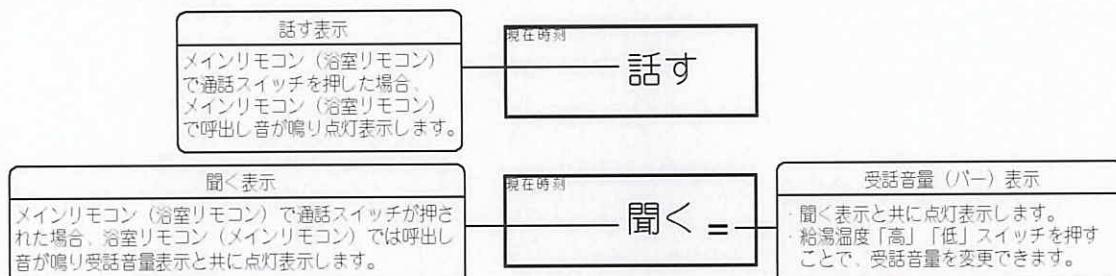
メインリモコン



浴室リモコン



蛍光管表示部 (インターホン機能に関する表示はメインリモコン、浴室リモコン共通)



3 使用前の準備

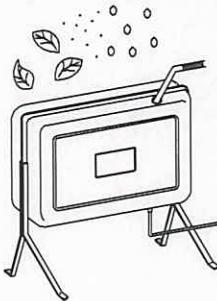
燃 料

- **△警告** ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- 燃料は、灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。
- 変質灯油、不純灯油は、絶対に使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給 油

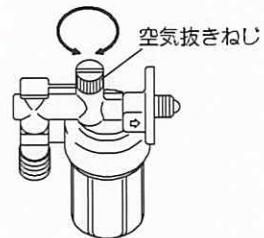
■給油の際の注意

- 給油の際に、水、ゴミなどを入れないように特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。



空気抜きの方法

- 油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの空気抜きねじをゆるめて送油経路内の空気を抜きます。
- 空気抜きねじ部から灯油があふれてきたら、空気抜きねじを元通り締め付けてください。



■油タンクの水抜き

- 油タンクに水が混入していた場合は、必ず水抜きを行ってください。

■給油口ふたは、確実に締めてください。

■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- 油タンクを空にしないように注意してください。
- 油タンクが空になり給油したときは空気抜きが必要となります。

■灯油があふれたらきれいにふきとってください。

■空気抜きねじ部のOリングをなくしたり、きずをつけたりすると油漏れとなり、使用できなくなりますので注意して取り扱ってください。特に、空気抜きねじを外しますとOリングがねじから外れ、紛失するおそれがありますので、空気抜きのときはゆるめるだけで、外さないでください。

運転開始前の準備と確認

■給水および水漏れの確認

- 給湯栓から水を出してみて、熱交換器内に水の入っていることを確認してください。
- 浴槽の排水栓は、水漏れないよう、しっかりと閉めてください。
- 浴槽の水位を確認してから運転してください。「ふろあつめ」運転の場合は、浴槽の水位が循環口から10cmうえになるまで給湯（または給水）してください。正常に機能しません。

■機器の周囲確認

- **△注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。
- **△注意** 機器や吹出口、給気口を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。

■送油経路の油漏れの確認

- 油タンクや送油管の接合部・給油コックなどから油漏れがないかどうか確認してください。

■電気配線の確認

- **△注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。
- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

4 使用方法

はじめてお使いになる場合

- インターホンリモコンの通話機能（通話スイッチ）については、7ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項と20ページの「使用方法（インターホンリモコン）」の項をご覧ください。

- 工場出荷時の初期設定は下記のとおりです。

項目	初期設定	設定参照ページ
現在時刻	- : - -.	9 ページ
給湯温度調節	40°C	10 ページ
ふろ沸き上げ温度	40°C	13 ページ
湯張り量の設定	200L	13 ページ
ふろ予約時刻	PM 6:00	16 ページ

■ 現在時刻合わせ

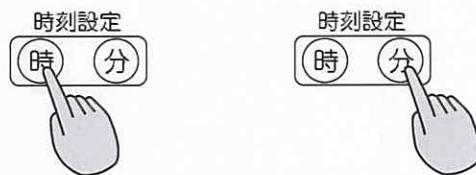
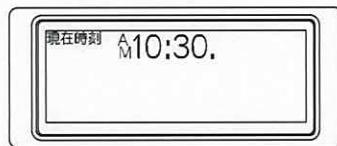
現在時刻合わせはメインリモコンで行います。
設置後や長時間の停電後は運転ランプが点滅し、時計表示がバー表示になっています。



- ① 時と分を同時に約5秒間押し続けます。 (発信音 [ピッ])
 - 時計表示部が 現在時刻 M12:00. の点滅表示になります。
 - 音声ガイド「時と分を合わせてください」



- ② 時を時で合わせます。 (発信音 [ピッ])
- ③ 分を分で合わせます。 (発信音 [ピッ])



点滅したまま約5秒放置しておくと点灯表示になり現在時刻合わせが完了します。 (発信音 [ピッ])

お願い 時計表示がバー表示にならない短い停電でも、現在時刻が遅れますので時刻設定しないでください。

使用方法（給湯）

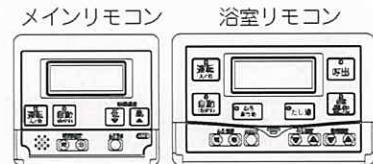
リモコンの蛍光管表示部の消灯（節電機能）について

- リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が消灯します。
運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。
- 給湯運転、ふろ運転または、リモコンスイッチ操作を行うとリモコンの蛍光管表示部が点灯します。
(給湯温度を60℃以上に設定したときは、高温のお湯が出るためリモコンの蛍光管表示部は消灯しません。)

■給湯運転の方法／給湯温度調節の方法

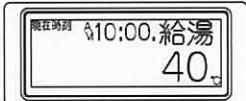
給湯運転はメインリモコン、浴室リモコンのどちらからでもできます。

(操作はメインリモコンで説明します。)



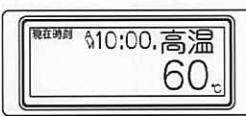
- ① を押して「入」にします。

- 運転ランプが点灯し、「給湯」または「高温」表示が点灯します。(発信音[ピッ])
- 音声ガイド「給湯できます」



- ② を押してお好みの温度にします。(発信音[ピッ])

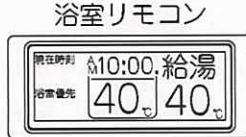
- 音声ガイド「給湯温度が変更されました」
- 37~50℃ 1℃刻みで設定できます。
- 50~70℃ 50℃、55℃、60℃、70℃の設定ができます。



- 温度設定が低い(49℃以下)とき、 を約3秒以上押し続けると50℃に変更されます。
また、温度設定が高い(41℃以上)とき、 を約3秒以上押し続けると40℃に変更されます。
- 60℃以上に設定したときは「高温」表示が3回点滅後点灯します。
- 音声ガイド「あついお湯がでます」

浴室リモコンで給湯温度調節するとき

- 浴室リモコンの を「入」にします。
- メインリモコンと浴室リモコンに「浴室優先」が表示されます。(発信音[ピッ])
- 音声ガイド「浴室優先に変更されました」
- 給湯温度設定スイッチ を押してお好みの温度にします。(発信音[ピッ])



メインリモコンと浴室リモコンの関係について

- 「浴室優先」が表示されていないとき
メインリモコンで設定された湯温で給湯します。
浴室リモコンで給湯温度調節はできません。
浴室リモコンの を「入」にしてから給湯温度調節をしてください。
- 「浴室優先」が表示されているとき
浴室リモコンで設定された湯温で給湯します。
メインリモコンで給湯温度調節はできません。
浴室リモコンの を「切」にしてから給湯温度調節をしてください。

使用方法（給湯）

- ③ 給湯栓を開くと自動的に点火します。
●燃焼を開始し  表示が点灯します。

●使いはじめは配管内の水が出ますので、お湯になるまで
しばらく時間がかかります。



- ④ 給湯栓を閉じると自動的に消火します。
●燃焼が停止し  表示が消灯します。



- リモコンで表示する温度と給湯する湯温は、配管長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 凍結予防（通水による方法）以外、長時間リモコン運転スイッチを「切」の状態で通水しないでください。機内に結露水が発生し故障の原因になることがあります。
- 自動運転、またはたし湯運転のお湯張り中は、浴室リモコンで設定されたふろ温度で給湯します。給湯温度を高温に設定しているときは、お湯張りが終了すると高温のお湯が出ますので、やけどにご注意ください。

より静かにお使いいただくために

- 給湯量に応じて変化する能力比例燃焼を行いますので中～低能力ではいっそう静音で快適に使用できます。深夜など騒音が気になる場合は給湯栓を少し絞りますと運転音を低減することができます。

使用方法（給湯）

■シャワーの使い方

お願い

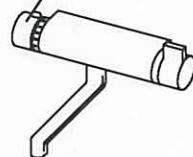
- シャワーを使用するときは必ず  を「入」にしてください。
- 「浴室優先」が「入」のときは、メインリモコンで給湯温度調節ができません。これはシャワー使用中に他の人がメインリモコンで給湯温度を変えるとやけどのおそれがあるためです。

シャワーは次のいずれかの方法でお使いいただくことをおすすめします。

- サーモ付混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、サーモ付混合水栓の温度設定を40℃前後（シャワー温度）に合わせてご使用ください。
- 右図のような2ハンドル混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、混合水栓の給水栓を少し開いてから給湯栓を少しずつ開き、適温にしてお使いください。
シャワー使用後、再使用するときは、はじめ給湯栓を少し絞りぎみにし、湯温が安定したらゆっくりと給湯量を増やしてください。

※給湯温度を50℃以上に設定することで、シャワー温度がより安定し快適なシャワーをご使用いただけますが、小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、リモコンの給湯温度設定を44℃～46℃に設定し湯と水を混合してご使用ください。

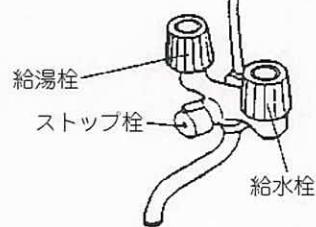
設定温度40℃前後



サーモ付混合水栓



湯温を確かめて！



2ハンドル混合水栓

ご注意

- △注意 シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に、他の人は温度設定を変えないでください。
シャワーの湯温が変わり、やけどのおそれがあります。
- 他の給湯栓、給水栓が同時使用された場合は、一瞬熱い湯や、ぬるめのお湯が出たりすることがありますので必ず湯温を確認してから使用してください。
- シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱いお湯や、ぬるめのお湯が出ることがありますのでご注意ください。

■給湯量と給湯温度の早見表

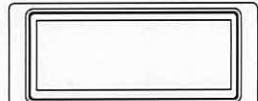
給湯温度 △	水温	給湯量 (L/分、計算値)		
		5℃(冬)	15℃(春・秋)	25℃(夏)
40℃		19	(27)	(44)
50℃		15	19	(27)
60℃		12	15	19

- （）内数値は湯水を混合した場合の給湯量の計算値です。
- 配管や給湯栓により給湯量は異なりますので目安としてください。
- 給湯中ふろ運転をしたときは、上表の数値より少なくなります。
- 給湯温度は給湯機の出口温度ですので、給湯配管の長さによっては給湯栓からの温度とは必ずしも一致しません。目安としてください。

■運転停止

お湯を長時間使用しないときや、外出するときは  を押し
て運転を「切」にしてください。

- 運転ランプと時計表示が消灯します。（発信音 ピピッ）



使用方法（ふろ）

ふろ運転は [自動]・[ふろあつめ]・[たし湯]・[ふろぬるめ] ができます。

- **△注意**入浴中にふろ運転をすると、あつい湯が循環口から出ますのでやけどに注意してください。
- 循環口フィルタの取り付けが不完全ですと、ふろのお湯が十分に沸き上がらないことがありますので、フィルタは確実に取り付けてください。

おふろの沸き上げ温度は浴室リモコンで設定します。

ふろ温度の設定方法

- ①  を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 [ピッ]
 - 音声ガイド「給湯できます」



- ② ふろ温度設定スイッチ   を押してふろの沸き上げ温度を設定します。（発信音 [ピッ]）
- 音声ガイド「ふろ温度が変更されました」
 - 37～48℃の範囲で1℃刻みで設定できます。
 - 温度表示は設定温度であり、配管の長さや放熱等により浴槽内の湯温とは必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

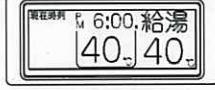


■おふろのお湯張り量の設定

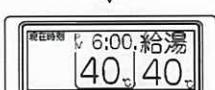
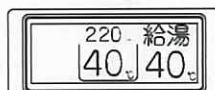
お買い上げいただいたときは、ふろ湯量が200Lに設定されていますが、浴槽の大きさに合せた量に変更できます。

ふろ湯量の設定方法

- ①  を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 [ピッ]）
 - 音声ガイド「給湯できます」



- ② ふろ湯量設定スイッチ   を続けて押し希望のふろ湯量に設定します。（発信音 [ピッ]）
- ふろ湯量は100L～400Lの設定ができます。
- ③ ふろ湯量設定スイッチ   を操作しない状態が約5秒間経過すると、ふろ湯量が確定します。（発信音 [ピッ]）
- 音声ガイド「ふろ湯量が変更されました」



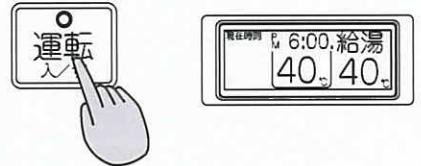
使用方法（ふろ）

おふろの沸かしかた — メインリモコン、浴室リモコンのどちらからでも自動運転ができます。—
(操作は浴室リモコンで説明します。)

■おふろを自動で沸かす

●浴槽が空のとき — 設定されたふろ湯温でお湯張りし、設定温度まで沸き上げ約4時間保温します。

- ①  を押して「入」にします。
●運転ランプが点灯します。(発信音[ピッ])
●音声ガイド「給湯できます」



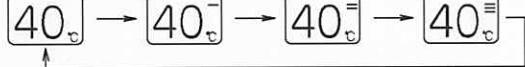
- ②  を押して「入」にします。
●自動ランプが点滅します。(発信音[ピッ])
●お湯張りします 表示が3回点滅し、温度表示に戻ります。
●音声ガイド「お湯張ります」



- ③ 湯面表示が点滅し、浴槽残湯の有無を確認します。

湯面表示点滅



- ④ お湯張りを開始します。
●たし湯表示が点灯し、設定された湯量をお湯張りします。 

- ⑤ お湯張りが完了します。
●たし湯表示が消灯し、湯面表示が点灯します。



- ⑥ 設定されたふろ温度まで沸き上げます。
●湯面表示が点灯します。



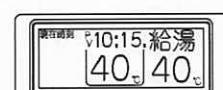
- ⑦ 設定されたふろ温度に沸き上がると
●自動ランプが点滅から点灯になります。
●発信音「[ピロロロン]」を2回繰り返します。
●音声ガイド「おふろが沸きました」



- ⑧ 沸き上がり後 約4時間設定温度で保温します。
●保温の必要がないときは、 を押して「切」にします。



- ⑨ 保温が約4時間経過すると自動運転を終了します。
●自動ランプ、湯面表示が消灯します。



使用方法（ふろ）

途中で自動運転を停止するときは、**自動** を押して「切」にしてください。

お願い

- 浴槽の排水栓が閉まっていることを必ず確認してください。
- 循環口からお湯張りしますから、浴槽にふたをしてください。
- 自動運転を始めると、循環口からお湯が出たあと一旦止まりますが異常ではありません。これは浴槽内の残り湯の有無を確認しているためで、しばらくするとお湯張りを始めます。
- 自動運転中は、約20分ごとに追いだきしてふろ温度を保ちます。入浴のタイミングによっては少しぬるい場合もあります。
- 給湯栓から給湯中に、自動運転または、たし湯運転を行うと給湯量が一時的に少なくなることがあります。

ご注意

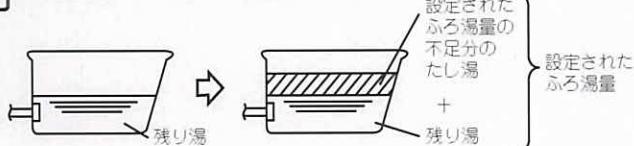
- 自動運転または、たし湯運転中のお湯張り湯温は、浴室リモコンで設定されたふろ温度になります。このときの給湯湯温は給湯温度設定にかかわらず、ふろ温度設定の温度になります。給湯温度を高温に設定しているときは、お湯張りが終了すると高温のお湯が出ますのでやけどのご注意ください。
- 何度も **自動** を押して「入」「切」を繰り返すと浴槽からお湯があふれことがあります。

● 浴槽の残り湯をそのまま沸かすとき

残り湯が循環口より上のとき



を押して「入」にします。



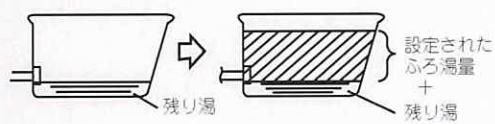
- 設定されたふろ湯量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸き上げて約4時間保温します。
- 沸き上がり時の浴槽の湯量はばらつくことがあります。
- 残り湯の温度がふろ温度設定に近い場合(7°C以内)は、たし湯を行いません。
- ふろの沸き上げ(残水量演算)中に給湯栓の開閉を繰り返すと、ふろの沸き上がりが遅くなることがあります。

- 夏などに前日の残り湯が冷めずに温かい場合(ふろ温度設定の7°C以内)は、たし湯を行わず沸き上げのみを行います。ふろ湯量がたりない場合は、沸き上げ後たし湯スイッチを押してたし湯運転をしてください。
- 自動運転は循環ポンプ及び配管内に呼び水を行いますので、水位が上昇することがあります。

残り湯が循環口より下のとき



を押して「入」にします。



- 設定されたふろ湯量をお湯張りし、設定温度まで沸き上げて約4時間保温します。
- 残り湯の量だけ浴槽の湯量が増えます。あふれるようでしたら、自動運転する前に残り湯を排水してください。

使用方法（ふろ）

■ふろ予約運転

入浴したい時間に待たずに入浴できる自動運転の予約スイッチです。

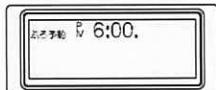
ふろ予約運転はメインリモコンから行います。

ふろ予約をすると、予約時刻の約30分前に自動運転が始まり、ふろの沸き上げが完了すると
ブザー、音声で入浴可能をお知らせします。予約時刻まではタイマー表示が表示されています。

ふろ予約時刻午後6:00の場合 — 工場出荷時の設定 —

- ①  を押して「入」にします。

- 現在時刻表示が消灯し、ふろ予約 M 6:00 表示が点灯します。（発信音ピッ）
- ふろ予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。
- ふろ予約運転を設定していても、給湯運転はできます。運転スイッチを「入」「切」してもふろ予約運転は取り消されません。



- ② お湯張りして設定温度まで沸きあがると

- 発信音「ピロロロン」を2回繰り返します。
- 音声ガイド「おふろが沸きました」と報知後、約4時間保温運転を行います。



ふろ予約運転を途中で解除するときは、 を押して「切」にします。

- 浴槽に残り湯があるときや残り湯の湯温が高いときは、ふろ予約時刻より早く沸き上がることがあります。
- お湯張り中に給湯をしたり、浴槽の残り湯の湯温が低いときは、ふろ予約時刻より遅れて沸き上がることがあります。

お願い 現在時刻を設定しないとふろ予約運転はできません。現在時刻を合わせてください。
(9ページをお読みください。)

■ふろ予約時刻の変更

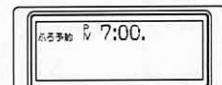
- ①  を押して「入」にします。

- 現在時刻表示が消灯し、ふろ予約 M 6:00 表示が点灯します。（発信音ピッ）



- ② 時 分 でふろ予約時刻を変更します。（発信音ピッ）

- ふろ予約時刻が変更されるとそのままふろ予約運転となります。



使用方法（ふろ）

入浴したら

- ぬるいときは _____
- あついときは _____
- お湯の量を増やしたいときは _____



を「入」にします。
を「入」にします。
を「入」にします。

■ふろあつめ運転

入浴してぬるいときは、ふろあつめ運転をしてください。適温になったら「切」にしてください。

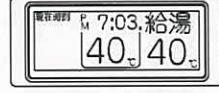
- ①  が「入」になっていることを確認します。
 を押して「入」にします。
 - ふろあつめランプが点灯します。(発信音[ピッ])
 - [あつくします]表示が3回点滅し、あつめ沸き上げ温度表示(ふろ温度設定+2℃)が点灯します。
 - [音声ガイド]「あつくします」
 - 湯面表示が点滅します。



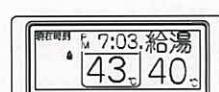
- ② 浴槽に湯があると湯面表示が点灯になり、ふろを沸き上げます。



- ③ ふろ温度設定より約2℃高く沸き上げて運転を停止します。
●ふろあつめランプ、湯面表示が消灯します。



- ふろあつめ運転中にふろ温度設定スイッチ  を押すとあつめ沸き上げ温度表示+1℃まで切り替わります。
●ふろあつめ温度が50℃を表示するとこれ以上の設定はできません。



- ふろあつめ運転中にふろ温度設定スイッチ  を押すとあつめ沸き上げ温度表示-2℃まで切り替わります。
●ふろあつめ温度が37℃を表示するとこれ以下の設定はできません。



適温になり途中でふろあつめ運転を停止するときは、 を押して「切」にしてください。

使用方法（ふろ）

■たし湯運転

ふろのお湯が少ないときは、たし湯運転で設定されたふろ温度でお湯張りされ、浴槽のお湯を増やせます。

たし湯量設定・たし湯運転の方法

- ①  が「入」になっていることを確認します。
 を続けて押す回数で希望のたし湯量が設定できます。

- たし湯ランプが点灯します。（発信音[ピッ]
- たし湯量の表示が点灯します。



- | | |
|-------|----------------------|
| 1回押し▶ | 30Lたし湯します
(約5cm) |
| 2回押し▶ | 60Lたし湯します
(約10cm) |
| 3回押し▶ | 90Lたし湯します
(約15cm) |
| 4回押し▶ | OFF |

- ②  を押してから約5秒後、設定されたたし湯量を循環口より注湯します。
- 音声ガイド「たし湯します」
 - たし湯表示バーが順番に点滅します。



- ③ たし湯運転終了
- たし湯ランプが消灯します。
 - たし湯量の表示が消灯します。

途中でたし湯運転を停止するときは、 を押して「切」にしてください。

お願ひ

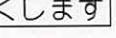
- 給湯栓から給湯中にたし湯運転を行うと、給湯量が一時的に少なくなることがあります。
- たし湯運転中はふろ温度設定の変更はできません。ふろ温度設定の変更は、たし湯運転を行う前にしてください。

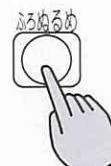
■ふろぬるめ運転

入浴してあついときは、ふろぬるめ運転をしてください。

一定量の水が浴槽へ注水されますので、適温になるまで

ふろぬるめ運転を数回繰り返してください。

- ①  が「入」になっていることを確認します。
 を押して「入」にします。（発信音[ピッ]）
-  表示が3回点滅し、初めの表示に戻ります。
 - 音声ガイド「ぬるくします」



- ② 浴槽の循環口より注水します。
- たし湯表示バーが順番に点滅します。



使用方法(ふろ)

③ ふろぬるめ運転終了

- たし湯表示が消灯します。

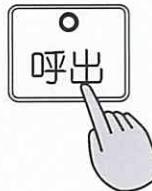
- 適温になって途中でふろぬるめ運転を停止するときは、 を押して「切」にしてください。
- ふろぬるめ運転をしてもふろの湯がまだあついときは、再度ふろぬるめ運転をしてください。

お願い

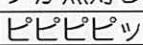
- ふろぬるめ運転中またはふろぬるめ運転終了後に給湯すると、しばらく水が出ます。
- 給湯中にふろぬるめスイッチを押して「入」にした場合は、給湯使用終了後にふろぬるめ運転を開始します。
- ふろぬるめ運転開始時に循環口からふろ配管内のあつい湯が出ることがあります。

■呼出スイッチについて

呼出スイッチを押すと、メインリモコン、浴室リモコンで発信音と音声ガイドが鳴り、おふろから赤ちゃんの湯上りなどを知らせることができます。発信音と音声ガイドのみで会話はできません。



①浴室リモコンの呼出スイッチ を押します。

- 呼出ランプが点灯します。
- 発信音  を5回繰り返します。
- 音声ガイド 「おふろで呼んでいます」

②呼出ランプが消灯します。

- インターホンリモコンは呼出スイッチのかわりに通話スイッチとなります。
使用方法は20ページの「使用方法（インターホンリモコン）」の項をご覧ください。

使用方法（インターホンリモコン）

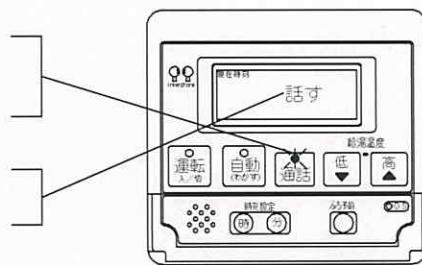
- ・運転スイッチの「入」「切」に関係なく通話ができます。
- ・どちらのリモコンからでも通話できます。（同時に両方から話すことはできません）

台所から浴室へお話しするとき

①メインリモコンの  を押します。

- ・メインリモコンの通話ランプが点滅します。
- ・メインリモコンと浴室リモコンで **ピピピピッ** を2回くり返し、呼出し音が鳴ります。
- ・メインリモコンに「話す」を表示します。（話すことができます）

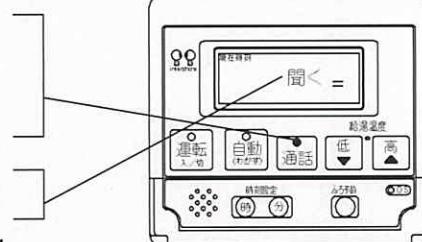
※呼出し音が鳴っている間にもう一度  を押すと呼出し音が止み、通話ランプが消灯し元の表示に戻ります。



②メインリモコンでのお話し終わったらメインリモコンの  を押します。

- ・メインリモコンの通話ランプが点灯します。メインリモコンと浴室リモコンの通話が切替ります。
- ・メインリモコンに「聞く」と「=(バー)」を表示します。（聞くことができます）

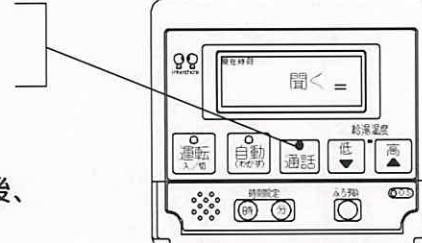
※  を押さなければ、「話す」が表示されてから通話時間10秒経過後、メインリモコンと浴室リモコンの通話が自動的に切替ります。



③浴室リモコンでのお話し終わったら、メインリモコンの  を押します。

- ・通話を終了し、元の表示に戻ります。

※  を押さなければ、「聞く」が表示されてから通話時間10秒経過後、自動的に通話を終了し、元の表示に戻ります。

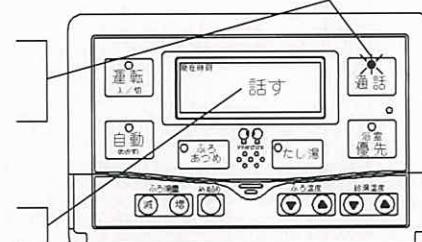


浴室から台所へお話しするとき

①浴室リモコンの  を押します。

- ・浴室リモコンの通話ランプが点滅します。
- ・メインリモコンと浴室リモコンで **ピピピピッ** を2回くり返し、呼出し音が鳴ります。
- ・浴室リモコンに「話す」を表示します。（話すことができます）

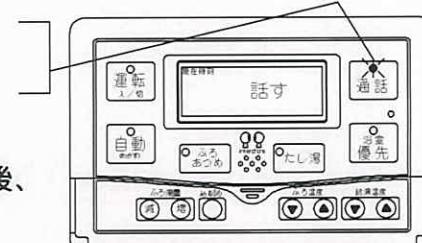
※呼出し音が鳴っている間にもう一度  を押すと呼出し音が止み、通話ランプが消灯し元の表示に戻ります。



②浴室リモコンでのお話し終わったら浴室リモコンの  を押します。

- ・通話を終了し、元の表示に戻ります。

※  を押さなければ、「話す」が表示されてから通話時間10秒経過後、自動的に通話を終了し、元の表示に戻ります。



使用方法（インターホンリモコン）

受話音量を変えるには

聞いているときに給湯温度 () を押します。

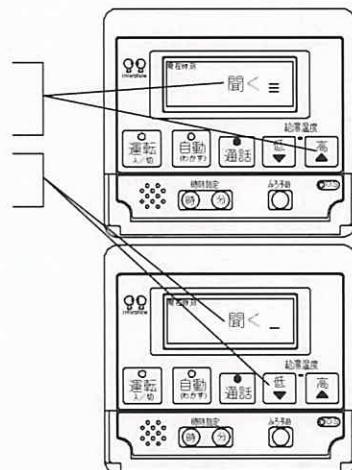
- ・ () 1回押して、バー表示が1本増え音量が大きくなります。
(最大音量バー表示3本)
 - ・ () 1回押して、バー表示が1本減り音量が小さくなります。
(最小音量バー表示1本)
- () 内は浴室リモコンのスイッチを表します。

※初期設定（工場出荷時）はバー表示2本です。

※受話音量を変更するとその後も変更した音量で記憶します。

※通話中給湯温度 () は受話音量変更以外使えません。

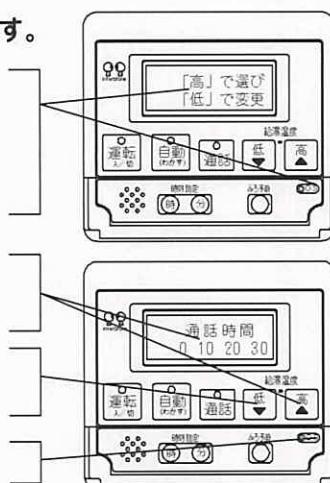
※メインリモコンと浴室リモコンで別々に設定できます。



通話時間を変えるには

※オプションスイッチ機能で通話時間0,10,20,30秒から選択することができます。

- ① が「切」の状態でメインリモコンの (オプションスイッチ) をボールペンの先の様なもので押して「入」にします。
(針の様な先の鋭いものは使用しないでください。)
 - ・「オプションスイッチ」の次に 「高」で選び 「低」で変更 と表示が点灯されます。
- ② 給湯温度 を押すごとに表示内容が切替ります。 を表示させてください。
- ③ 給湯温度 を押すと点滅しているデータが右へ移動します。
設定したい通話時間を選びます。
- ④ (オプションスイッチ) を押して変更を終了します。



※初期設定（工場出荷時）は「10」秒です。

※「0」秒に設定した場合は、

- ・インターфон機能は使用できなくなります。
- ・浴室リモコンのみ スイッチは呼出しスイッチとして使用できます。
- ・メインリモコンの スイッチは操作を受けません。
- ・5ページの「呼出しスイッチについて」の項をご覧ください。

ご注意

- ・通話の際はリモコンから約50cmはなれた位置でお話しください。
- ・言葉が途切れたり、声が小さいときは、リモコンに近づいてお話しください。
- ・浴室・メインリモコン同時に両方から話すことはできません。リモコンに「話す」が表示されてからお話しください。
- ・おふろの自動運転や追いだきなどのふろ運転中も通話できますが、通話中に運転、自動、ふろあつめ、ふろぬるめ、たし湯スイッチを押すと通話を終了します。
その他のスイッチは通話中受け付けません。（受話音量変更による給湯温度「高」「低」スイッチは除く）
- ・使用環境によっては通話音声に雑音が混ざったり、通話音声が一瞬途切れことがあります。これはリモコンの故障ではありません。
- ・浴室リモコンと浴室テレビと一緒に取付けてお使いの場合は、テレビの音量を小さくするか、テレビを「切」にしてから通話してください。テレビの音声で相手の話し声が聞き取りにくくなります。
- ・通話中におふろが沸き上った場合は通話終了後に報知します。
- ・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると受け付けない場合がありますので、再度スイッチを確実に押してください。
- ・スイッチの操作を行うと小さな雑音が聞こえますが、リモコンの故障ではありません。

使用方法

■オプションスイッチ

オプションスイッチ機能で、故障時の連絡先の電話番号登録や、リモコンの音量、明るさなどが変更できます。

- オプションスイッチには12種類の機能があります。

No.	表 示	内 容	初期設定	デ 一 タ
1	TEL 登録	異常時の連絡先（電話番号）を登録すると異常（モニターサイン）時に表示します。	0120919302	最大12桁登録可能
2	保 温 時 間	ふろ沸き上がり報知後の保温時間が変更できます。	4時間	0・1・2・4・6・12 ∞（連続）（時間）
3	あつめ温 度	ふろあつめの沸き上げ温度（ふろ設定温度+あつめ温度）が変更できます。	+2°C	0・+1・+2・+3（°C）
4	※1 循 環 ポン プ	循環ポンプを駆動してふろ配管の凍結を予防する機能（循環ポンプ凍結予防運転）の有無を選択できます。	有り	有り・無し
5	メ イン 音 量	メインリモコンの音量が変更できます。	中	無・小・中・大
6	浴 室 音 量	浴室リモコンの音量が変更できます。	中	無・小・中・大
7	リモコン操作音	接続している全てのリモコンの操作音の有無を選択できます。	有り	有り・無し
8	メ イン 輝 度 量	メインリモコンの蛍光管表示部の明るさを変更できます。	明	暗・明
9	浴 室 輝 度 量	浴室リモコンの蛍光管表示部の明るさを変更できます。	明	暗・明
10	※2 補 水 量 補 正	補水の有無の切替や、補水量の補正ができます。	0	補水無し・-30～+30 (10刻み) (%)
11	表 示 消 灯	お湯を使用しないと、接続している全てのリモコンの蛍光管表示部を消灯する節電機能です。	有り	有り・無し
12	※3 通 話 時 間	通話スイッチを押したとき、通話できる時間を変更できます。	10	0・10・20・30(秒)

※1 基本的に循環ポンプ凍結予防運転は「有り」でご使用ください。循環ポンプ凍結予防運転を「無し」にした場合は、循環ポンプ凍結予防運転が働かなくなりふろ配管が凍結する場合があります。

必ずふろ配管の凍結予防ヒータの追加、保温材の追加等十分な処置をおこなってください。（凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合は責任を負えません。）

※2 【補水と補水量補正について】

ふろ自動スイッチを押して浴槽の残り湯を沸き上げる場合、設定されたふろ湯量までたりないお湯を自動的にたし湯（補水）します。（15ページ●浴槽の残り湯をそのまま沸かすときをお読みください。）

たし湯（補水）するお湯の量は機器の設置状況等でばらつくことがありますので、この場合は補水量補正でたし湯するお湯の量を補正することができます。また、このたし湯（補水）を行わないようにすることもできます。

例 1).補水量補正「+10」にした場合

たし湯（補水）するお湯の量を10%増やします。

例 2).補水量補正「補水無し」にした場合

設定されたふろ湯量より浴槽の残り湯が少なくてたし湯（補水）しません。

※3 通話時間は、インターホンリモコンを接続した場合のみ設定変更が可能です。

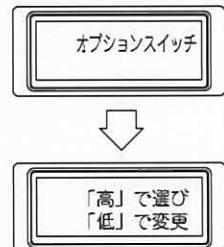
使用方法

■オプションスイッチの操作・設定変更方法

オプションスイッチはメインリモコンから行います。

No.1 TEL 登録 の変更方法

- ①  が「切」の状態でメインリモコンの  (オプションスイッチ) 部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。(針のような先の鋭いものは使用しないでください。)
- オプションスイッチ 表示の次に、「高」で選び 「低」で変更 の表示が点灯します。



- ② 給湯温度  スイッチを1回押します。

- TEL 登録 表示が点灯します。

※初期設定はコロナサービスセンターの電話番号が
入力されています。



- ③ 時刻設定  スイッチを押して点滅しているバー表示を
希望の数字に合わせます。

- 合わせた数字が点滅します。



- ④ 時刻設定  スイッチを押して合わせた数字を確定しま
す。

- 合わせた数字が点灯に切り替わります。

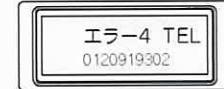


- ⑤ 以下同様に時刻設定   スイッチで新しい電話番号
に変更します。



- ⑥  スイッチを押して電話番号の登録を終了します。

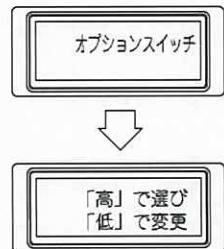
- 故障時にはエラーNo.表示と共に連絡先の電話番号が表
示されます。



使用方法

No.2～No.12の方法

- ①  が「切」の状態でメインリモコンの  部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。(針のような先の鋭いものは使用しないでください。)
- **オプションスイッチ** 表示の次に、「**高**で選び」「**低**で変更」の表示が点灯します。



- ② 給湯温度  スイッチを押すごとに表示内容が前記一覧表のNo.1～No.12の順に切り替わります。
変更する内容の表示を選びます。



- ③ 給湯温度  スイッチを押すごとに点滅しているデータが切り替わりますので、設定したいデータを選びます。



- ④  スイッチを押して変更を終了します。

-  スイッチを「入」にしたときや、給湯温度  スイッチで表示内容を切り替えたとき、約10秒以上次の操作が行われないと、そのときのデータでオプションスイッチ機能が終了します。
- 設定されたデータは、停電があっても保持されます。

凍結予防

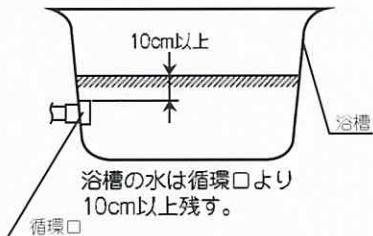
- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。
- 凍結による修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。

凍結予防運転による方法 通常のとき

- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。
- 凍結するおそれのある外気温になると、機内に組み込まれたヒータで自動的に機内の凍結予防を行います。



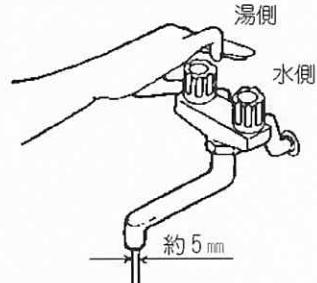
- 浴槽の循環口より10cm以上水を入れておきます。
- 凍結するおそれのある外気温になると、自動的に浴槽内の水を循環させて、ふろ配管の凍結予防を行います。浴槽内に水がないと、循環ポンプが空運転し、大きな音の発生や故障の原因になります。



この方法は機内の凍結予防はできますが、機外の給水・給湯配管、ふろ配管、ドレン配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器や循環口との接続部についても露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

通水による方法 外気温が-15°C以下になると、外気温が-15°Cより高くて風があるとき

- 上記の（凍結予防運転による方法）を行います。
- 電源プラグをコンセントにさしていないと、中和器が凍結により破損するおそれがあります。



- リモコンの運転スイッチを「切」にします。

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。給湯側を開き、1分間に約400ccの水（太さ約5mm）を流したままにします。

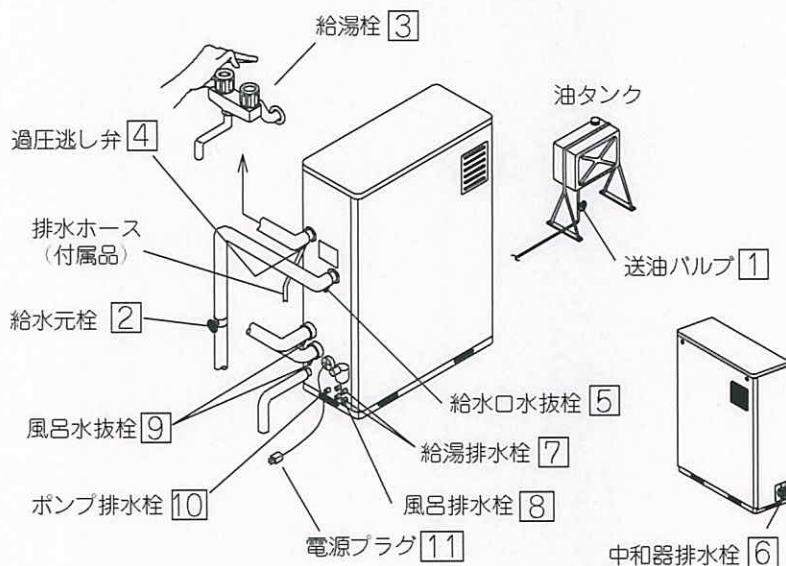
- 水の流量が不安定なことがありますので、約30分後に水の流量をもう一度確認してください。
- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

この方法は機内だけでなく、機外の給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、機外のふろ配管、ドレン配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器や循環口との接続部についても露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

凍結予防

水抜きによる方法 外気温が-15°C以下になるとき、外気温が-15°Cより高くて風があるとき
長期間機器を使用しないとき

- **△注意** 機器の使用直後は機内のお湯が高温になっていますので、必ず機器が冷えてから水抜きを行ってください。やけどのおそれがあります。
- 下図を参照しながら、次の手順で水抜きを行ってください。
 - ① リモコンの運転スイッチを「切」にします。
 - ② 浴槽の水を排水します。
 - ③ 油タンクの送油バルブ ①、給水元栓 ② を閉めます。
 - ④ 全ての給湯栓 ③ を開きます。給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。
 - ⑤ 過圧逃し弁④、給水口水抜栓 ⑤ 、中和器排水栓 ⑥ を外します。
- 機内の水が出ますので、設置場所によっては容器で受けてください。
- 外した部品はなくさないでください。
- 中和器排水栓 ⑥ からの排水が白っぽい・茶色っぽい場合がありますが、人体や環境に影響はありません。
- ⑥ 浴室リモコンの浴室優先スイッチを約5秒間押します。リモコンに「水抜き中」と表示されますので、消灯するまで待ちます。
- ⑦ 給湯排水栓 ⑦ 、風呂排水栓 ⑧ 、風呂水抜栓 ⑨ 、ポンプ排水栓 ⑩ を外します。
- 機内の水が出ますので、設置場所によっては容器で受けてください。
- 外した部品はなくさないでください。
- ⑧ 電源プラグ ⑪ をコンセントから抜きます。



給水口水抜栓 [5] (1個)・給湯排水栓 [7] (2個)・風呂排水栓 [8] (1個)・風呂水抜栓 [9] (2個)・ポンプ排水栓 [10] (1個)



凍結予防

■水抜き後の再使用の準備

26ページの図を参照しながら、次の手順で行ってください。

- ①全ての給湯栓 [3] を閉めます。
- ②外した過圧逃し弁 [4] 、給水口水抜栓 [5] 、中和器排水栓 [6] 、給湯排水栓 [7] 、風呂排水栓 [8] 、風呂水抜栓 [9] 、ポンプ排水栓 [10] を全て取り付けます。
- 外した部品の取り付け場所を間違わないでください。間違えると機器が正常に作動せず故障の原因となります。
- 取り付け部が凍結している場合は、お湯をかけて解凍してから確実に取り付けてください。
- ③給水元栓 [2] を開きます。
- ④全ての給湯栓 [3] を開き、水が出ることを確認します。
- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にしてから水が出ることを確認してください。また確認後、やけど防止のために給湯栓のレバーを元の温度設定に戻してください。
- ⑤油タンクの送油バルブ [1] を開きます。
- ⑥電源プラグ [11] をコンセントにさします。
- ⑦時刻設定をします。（9ページをお読みください。）
- ⑧ふるぬるめ運転を1回行います。（18ページをお読みください。）

凍結したときのご注意

凍結すると以下のような症状が現れることがあります。その場合は、溶けるのを待ってから使用してください。そのまま使用すると機器が破損するおそれがあります。

- 給湯栓から水が出ない、水の出が悪い。…給湯配管の凍結
- ふろが沸かない。（循環しない。）…ふろ配管の凍結
- リモコンに「エラーU2」または「エラーU3」が表示する。…ふろ配管の凍結

使用上の注意

■やけどに注意

- **△注意** 燃焼中や消火直後は、高温部、吹出口、枠上部に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。
- ふろあつめ運転中または、運転直後に給湯運転をするとあついお湯がでる場合があります。

■みだりに飲用に用いないでください。

- 使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。
なお、熱交換器や配管内にたまっていた水は飲用または調理に用いないでください。

■ふろ運転について

- 浴槽の循環口は、タオルなどでふさがないでください。
- 浴槽の循環口フィルタは必ず取り付けて運転してください。
- 浴槽の循環口フィルタは浴槽の清掃のときに必ず清掃してください。

■入浴剤や洗剤について

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

■シャワーについて

- **△注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

■リモコンについて

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。
- リモコンに水をかけないでください。リモコンの表面が汚れたときは、直接水をかけずに湿った布で軽くふいてください。浴室リモコンは防水構造ですが、故意に水をかけると故障の原因になります。

■ドレン水について

- ドレン口から排出されるドレン水を飲料用・飼育用・園芸用などに使用しないでください。

長期間使用しないとき

長期間機器を使用しないときは、水抜きを行ってください。

- (26ページの**水抜きによる方法**をお読みください。)

5 安全装置

対震自動消火装置

地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた場合、自動的に消火します。エラー表示：2

- 地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」してください。

点火安全装置・燃焼制御装置

燃焼が完全に開始されないと、または万一炎が立ち消えになったときは炎検知器（フレームアイ）が感知してバーナの運転を停止します。
エラー表示：4

- 点火不良の原因を取り除き、リモコンの運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」してください。

停電安全装置

停電や電源プラグが抜けたとき運転を停止します。

- 停電復帰後は、運転を開始します。使用しないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 長い停電のときは、停電復帰後に運転ランプが点滅します。このときは、運転スイッチを「入」してください。

空だき防止装置

熱交換器に水が入っていないとき、機具を運転させない装置です。

- 正しく給水されているか確認後、運転操作をしてください。

6 その他の装置

その他の装置が作動したときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 送風機回転検知 —— 送風機の回転に異常があったとき、運転を自動的に停止します。

7 点検・手入れ

日常の点検・手入れ

■点検、手入れのときの注意

- メインリモコンの運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。

■点検、手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- △注意 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。
- 電源プラグにほこりがたまっている場合は除去してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買い上げの販売店に連絡してください。

4. 油タンク（水抜きを含む。）（1ヵ月に1回以上）

- 油タンク内には、水・ゴミがたまりやすく、多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

5. 水漏れ（日常）

- 機器本体および配管、継手部から水漏れがないか、確認してください。

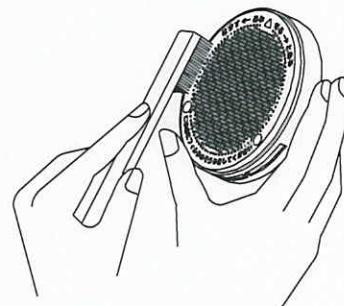
日常の点検・手入れ

6. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

- オイルフィルタに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

7. 循環口フィルタの掃除（日常）

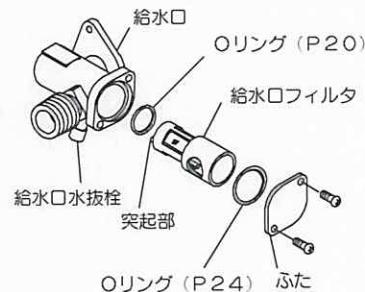
- 浴槽の掃除のときは、必ず掃除してください。
- 循環口のフィルタを左方向にまわして外し、古歯ブラシ等で正面の網部分にたまたったゴミを、内側と外側から取り去り、水洗いした後で元通り取り付けてください。
- 循環口フィルタの取り付けが不完全ですと、ふろのお湯が十分に沸き上がらないことがありますので、フィルタは確実に取り付けてください。



8. 給水口フィルタの掃除（3ヵ月に1回以上）

- 給水口フィルタにゴミがたまっていないか確認してください。
ゴミがたまりますと、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。
 - ①給水元栓を閉めます。
 - ②給湯栓を開きます。
 - ③過圧逃し弁を外し、給水口水抜栓をゆるめて排水した後、給水口フィルタを外しゴミを洗い流してください。
- 過圧逃し弁および給水口水抜栓からの排水を設置場所によつては2L程度の容器で受けてください。
- ④右図のように、各部品を元通り組み付けてください。

給水口フィルタの突起部を給水口の内部壁面にあるへこみ部に合わせ、（突起部を給水口の給水配管側にする）給水口フィルタを給水口の中に差し込んでください。突起部がへこみ部に入り込まないと、給水口フィルタが給水口の中に完全に入らず水もれの原因となります。



9. アース（日常）

- アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

10. ドレン配管

- ドレン配管先端にゴミづまりがないか確認してください。つまりがある場合は掃除してください。

定期点検（有料）

■定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づいて4～6年に1回程度の点検をおすすめします。

点検はお買い上げの販売店または、修理資格者〔（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などにご相談ください。

8 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- 万一、具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- 原因のわからないときや、処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

現象	原因	処置方法
運転スイッチを入れても運転ランプがつかない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
	電源の元スイッチ（ブレーカ）が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にする。
	停電している。	通電するまで待つ。
運転ランプは点灯するが、給湯栓を開いてもお湯が出てこない。	給水元栓・給湯栓のしほりすぎで、給湯量が少ない。	給水元栓・給湯栓を開き、給湯量を増やす。
リモコンにエラー表示「エラー2」が点滅する。	「対震自動消火装置の作動」 地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた。	地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなどの異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
リモコンにエラー表示「エラー4」が点滅する。	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
	油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き（8ページをお読みください。）をしたのち、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
	上記の処置を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。	
高温のお湯が出ない。 低温のお湯がでない。	給湯温度設定が適切でない。	給湯温度を再設定する。 10ページをお読みください。
おふろのお湯がぬるい。 おふろのお湯があつい。	ふろ温度設定が適切でない。	ふろ温度を再設定する。 13ページをお読みください。
	循環口フィルタがつまっている。	循環口フィルタを掃除する。
	循環口フィルタの取り付けが完全でない。	循環口フィルタを右方向にしっかり回す。
おふろが沸かない。 大きな音（ブーン）がする。 リモコンにエラー表示「エラーU2」が点滅する。	循環口フィルタがつまっている。	循環口フィルタを掃除する。
	ふろ配管が凍結している。	ふろ配管の凍結がとけるまで待ってください。
燃焼音が異常。	販売店に連絡してください。 △警告 ● このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止し販売店に連絡してください。	
ススを出して燃える。		
油漏れしている。	販売店に連絡してください。 △注意 ● このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止し販売店に連絡してください。	
水漏れしている。		
アース線が切れている。 アースがない。		

「エラー2」「エラー4」が出た場合は、35ページの「モニターサインによる見分け方」もお読みください。

次の現象は故障ではありません

■リモコンの表示が消える

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が消灯します。運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。給湯運転、ふろ運転または、リモコンスイッチ操作を行うとリモコンの蛍光管表示部が点灯します。

■給湯栓をしぼりすぎると運転しない

この機器は、給湯栓を極端にしぼりすぎるとバーナが着火しないことがあります。給湯栓をさらに開いてください。

■同時給湯したときの湯温の変動

2箇所同時に給湯すると、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なり、湯温が変動することがあります。特に、シャワーをご使用中に他の給湯栓を同時に使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

■給湯栓開閉時の湯温変動

給湯栓を閉じて再び開いたときは、ぬるくなったり、あつくなったりすることがあります。

■給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない

機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出るまで少し時間がかかります。

■給湯栓を開くとお湯の量が変化する

給湯栓を開いた直後に、お湯の量が少なくなる場合があります。湯温を安定させるためにマルチサーモメカが水量を調節しているためです。

■お湯の白濁

出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。水圧が高いと水に溶け込んでいた空気が分離して、細かい気泡となって出てくる現象で無害なものです。（減圧弁を使用すると少なくなります。お買い上げの販売店にご相談ください。）

■浴槽や洗面台に青いものが付着する

水中に含まれる微量の銅イオンと湯あか（人の身体や石けんからでた脂肪分）が反応してできた「銅石けん」が、青く見えるためです。銅石けんは無害で健康上問題はありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することで付着しにくくなります。

■運転中に時々「ジージー」音がする

出湯温度を安定させるために、マルチサーモメカが作動している音です。

■運転停止後しばらく送風機の音がする

燃焼室内の排ガスを排出するために送風機が運転している音です。

■バーナの運転が断続

給湯量が少ないと変動幅の少ない安定した湯温で給湯するために、マイコンの制御によりバーナが着火、消火を繰り返すことがあります。

次の現象は故障ではありません

■給油後エラー4が点滅する

油切れになると給油しても、送油経路内にたまつた空気のためバーナが着火せず、「エラー4」がリモコンに点滅することがあります。このときは送油経路内の空気抜きを行つてからリモコンの運転スイッチを入れ直してください。空気抜きの方法は41ページの「試運転」をお読みください。

■過圧逃し弁からお湯（水）が出ることがある

給湯使用直後やふろ運転中に、熱交換器内の上昇した圧力を逃がすため、わずかな間お湯（水）が出ることがあります。

■冬期間、ふろ運転をしていないのに循環ポンプが運転する

循環ポンプの凍結予防運転によるものです。

■試運転時煙が出たり臭いがする

試運転時、機器の燃焼経路に付着した機械油が燃えるため、煙が出たり臭いがすることがあります。しばらく燃焼すると出なくなります。

■ドレン口の配管から水が出る

この機器は、二次熱交換器で排気ガスから熱を回収する際、排気ガス中に含まれる水分が結露し、酸性水が発生します。この酸性水を中和器の中和剤（炭酸カルシウム）で中和してから、ドレン口の配管から排水します（最大約50cc/分程度）。

■ドレン口の配管から出る水に色がついている（白っぽい・茶色っぽい）

機器内部に発生する結露水を中和剤（炭酸カルシウム）で中和してから、ドレン口の配管から排水します。この中和により色味がかる場合がありますが、人体・環境に影響はありません。

■排気口（吹出口）から白煙が出る

二次熱交換器で熱を回収された排気ガスは、熱を奪われるため排気温度は低く、また多くの水分を含んでいます。このため、外気に触れると結露し、排気口から滴下したり、排気が白く見えることがあります。

モニターサインによる見分け方

- リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
- 販売店に連絡していただく際は、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。
- 停電があった場合には運転ランプが点滅します。運転スイッチを押すことで、再運転します。

モニターサイン

処置方法

■エラー表示するが運転可能なとき

E1 浴室リモコン接続不良
E2 メインリモコン接続不良
6 給湯サーミスタ断線
9 給水サーミ스타断線 ふろあつめとふろぬるめ運転のみ可能
22 ミキシング弁異常
A ふろサーミ스타断線（給湯運転のみ可能）
A1 油温サーミ스타断線
A2 油温サーミ스타短絡
A6 熱交サーミ스타断線（給湯運転のみ可能）
A8 熱交出口サーミ스타断線
U1 流水スイッチ短絡（給湯運転のみ可能）
U3 給湯フローセンサ異常、湯張リフローセンサ異常
（給湯運転のみ可能）
L1 給湯温度高温異常
H7 排気温度異常

H4 中和器寿命（「エラーH4」と「修理必要」が交互に点滅）
U2 流水スイッチ断線、流水スイッチON不能
（給湯運転のみ可能）

リモコンに「給油」が点滅・・給油検知の作動
(別売部品のキュウユケンチソウチ
OT-2取り付け時)

E1
E2
6
9
22
A
A1
A2
A6
A8
U1
U3
L1
H7

機能の一部が故障していますので、販売店に連絡してください。

H4 しばらく使用できますが、中和器の交換が必要です。
販売店に連絡してください。
32ページをお読みください。
32ページの処置を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。
油タンク内の灯油が少なくなりました。
早めに給油してください。

2 32ページをお読みください。
32ページの処置を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。
4

H3 使用を中止して販売店に連絡してください。
H4 中和器の交換が必要です。
販売店に連絡してください。

■エラー表示して全停止のとき

2 地震（震度5以上）や強い振動、衝撃を受けた。
(対震自動消火装置の作動)
4 不着火、途中消火、フレームアイ断線

H3 水検知

H4 中和器寿命（「エラーH4」と「修理必要」が交互に点滅）

■「88」がモニター表示されたとき（故障・異常ではありません）

メインリモコンケース部に表示されている点検受付窓口(0120-665-785)に給湯機の点検を依頼してください。
※本製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。製品が10年相当使用された場合、点検時期である旨をリモコンの表示部に「88」表示でお知らせします。10年目以降は1年ごとに「88」が表示されます。
上記以外のモニターが表示した場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。

9

部品交換のしかた

- 循環口フィルタは破損したものを使っていますと、循環ポンプにゴミが入り故障の原因となりますので、傷んだときは早めに交換してください。
- 部品交換は処理が難しいので、お買い上げになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は純正部品とご指定ください。

10 仕様

型式の呼び		FDW-EF470AXPMS (基本型式 UKB-EF470AXP(MS))		FDW-EF470AXPMSP (基本型式 UKB-EF470AXP(MSP))							
種類	給排気方式	屋外用開放形									
	燃焼方式	圧力噴霧式									
	加熱形態	瞬間形									
	加熱方式	2缶2水路式									
	給水方式	水道直結式									
	ふろがま経路の循環方式	強制循環式									
点火方式											
使用燃料											
燃料消費量	給湯側	48.88kW (4.75L/h)									
	ふろ側	17.06kW (1.7L/h) (初期水温10℃のとき)									
出力	ふろ側	14.5kW									
湯沸効率	ふろ側	85.0%									
連続給湯効率	給湯側	95.0%									
連続給湯出力	給湯側	46.5kW									
熱交換器容量	給湯側	1.5L (一次側: 0.9L 二次側: 0.6L)									
	ふろ側	1.1L									
使用圧力(最高使用圧力)	1MPa										
伝熱面積	給湯側・ふろ側	1.91m ² (一次側: 1.6m ² 二次側: 0.31m ²) · 1.6m ²									
外形寸法	高さ 795mm 幅 660mm 奥行 210mm										
質量	46kg										
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz										
定格消費電力	給湯使用	点火時 74W/ 74W 燃焼時 98W/ 98W									
	給湯・ふろ同時使用	点火時 150W/175W 燃焼時 170W/200W									
待機時消費電力	3.0W/3.0W										
排気温度	260℃以下										
騒音レベル	49dB										
ノズル	噴霧量	4.5L/h									
	スプレー/パターン	エバーロイ社のホロコーン									
	噴霧角度	78度									
循環管取付口径	R1/2 (15Aオネジ)										
基準浴槽	有効水量 200~220L(2人用)										
電流ヒューズ	10A										
温度ヒューズ	184℃										
安全装置	・対震自動消火装置 ・点火安全装置 ・停電安全装置 ・燃焼制御装置 ・空だき防止装置										
その他の装置	・送風機回転検知										
付属品	・メインリモコン ・浴室リモコン ・リモコンカバーセット ・給水口保温材 ・出湯口保温材 ・リモコン取付板用木ねじ ・リモコン取付板用ねじ ・Y端子 ・排水ホース ・取扱説明書 ・工事説明書 ・所有者票 ・Φ8×2.5m銅パイプセット ・調節ボルト用金具 ・とって取付ねじ ・埋込みプラグ										

11 アフターサービス

アフターサービスについては、製造元である株式会社コロナが行います。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙に保証書がついています。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

- 次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）

■変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。

■誤った使用方法による故障や事故。

■一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。

■凍結による事故及び破損。

修理を依頼されるとき

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。

①品名

②型式の呼び

③お買い上げ日

④故障の状況（できるだけ具体的に）

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または、この取扱説明書の最後のページに記載されている「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■補修用性能部品について

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、7年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■故障・修理の際の連絡先

- お買い上げの販売店または、この取扱説明書の最後のページに記載されている「お客様ご相談窓口」にご連絡ください。

12 据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据え付けや移動工事は、販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

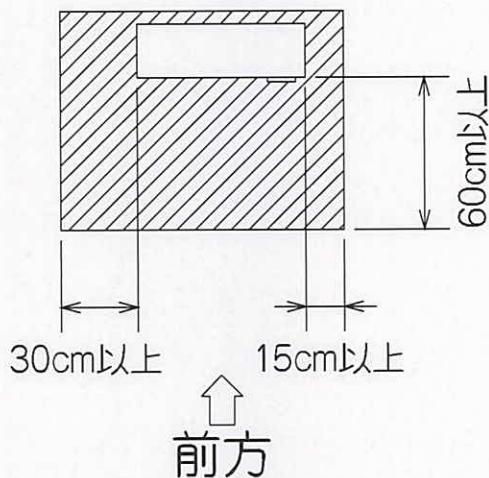
据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または、据付業者とよくご相談してください。
また、「標準据付け例」については39ページを参照してください。

●据付け場所の選定

- 機器を据え付ける場所は、水道工事、電気工事などの付帯工事のできる場所を選んでください。また、火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。
- 適切な位置に電源コンセントがない場合には、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し所定の配線をしてください。

●点検・修理スペース

- 必ず機器の点検・修理ができるように設置してください。斜線内は点検スペースですから物を置いたり囲ったりしないでください。

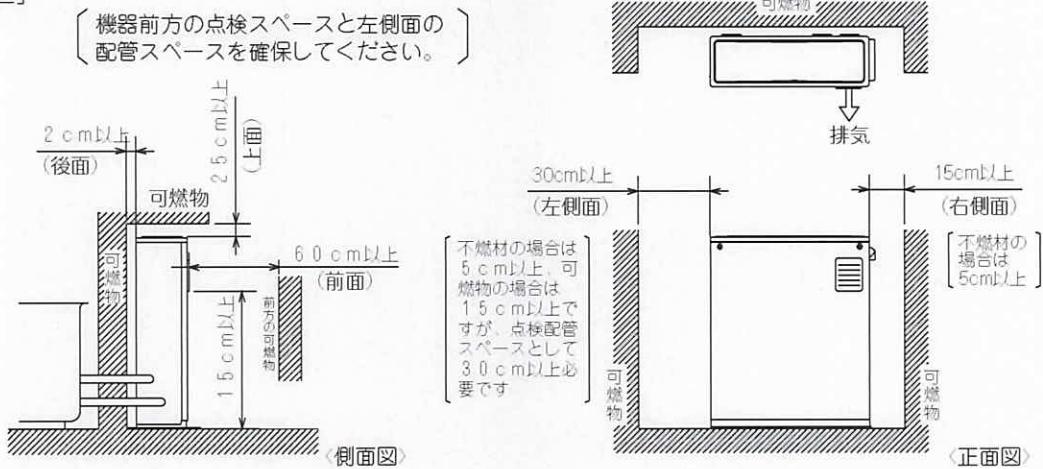


据付け場所の選定及び標準据付け例

●標準据付け例

- ・防火性能認証品ですので、下記寸法で設置できます。

[屋外設置]



騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

■周囲の材料と本体との距離

- 機器の周囲の壁は金属以外の不燃材料（コンクリート、コンクリートブロック、モルタル、しっくいなど）で仕上げてありますか。
- 火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■空気取入口、換気口

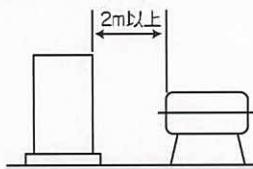
- 機器は密室に設置することなく、空気の取り入れおよび換気は十分行える場所ですか。

■アース

- △注意** 専用のアース（線）を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。アース（線）は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース（線）には絶対に接続しないでください。

■油タンクと本体の距離

- 屋外に設置する200L以上1,000L未満の油タンクは機器の間に防火上有効な壁などがない場合2m以上離してありますか。屋内に設置する油タンクは容量にかかわらず2m以上離してください。



- 油タンクは機器と同一床面に置かれていますか。
※大容量の油タンクを使用するとき最大落差は2m以内にしてください。
- △注意** ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。

■電源コンセントの位置

- 電源コンセントは適切な位置にありますか。

■凍結予防

- 凍結予防を考慮した配管工事がしてありますか。

試運転

試運転は、販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。

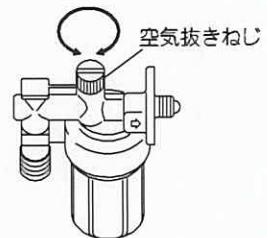
- 試運転終了後は、凍結予防のため [凍結予防] の項に従って処置してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、[凍結予防] の項に従って必ず水抜きを行ってください。
(26ページをお読みください。)

運転準備 (8ページもお読みください。)

- 給油及び送油経路の空気抜きをしてありますか。また、油漏れはありませんか。
- 給湯栓を開いて水が出ますか。（熱交換器の中に水が入っていますか。）また、配管に水漏れはありませんか。
- 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
- 各リモコンの機器への配線に間違いはありませんか。

■初期運転時の空気抜き方法

- ①油タンクの送油バルブを開き、機器のオイルフィルタの空気抜きねじをゆるめ送油経路内の空気を抜きます。空気ねじ部から灯油があふれてきたら、空気抜きねじを元通り締め付けてください。
- ②リモコンの運転スイッチが「切」の状態で、メインリモコンの  と  スイッチを同時に約5秒間押し続けます。リモコンに「ページ」表示が点灯します。
- ③給湯栓を全開にすると空気抜き運転を開始します。最大火力で約5分間燃焼後、着火火力で約5分間燃焼した後、「ページ」表示が消灯し、空気抜き運転を停止します。
- ④給湯栓を閉めます。これで空気抜きは終わりました。



ページ

- 空気抜き運転中、バーナ送油経路内の空気のため、一時的に煙が出ることがあります。すぐに正常燃焼になります。
- 空気抜き運転中に「エラー4」が発生したときは、リモコンの運転スイッチまたは、本体プリント板のリセットスイッチでリセットした後、空気抜き運転をやり直してください。

試運転

(運転) —— 給湯 —— 10ページもお読みください。

■運転開始手順

給湯運転はメインリモコン、浴室リモコンのどちらからでもできます。

- ①  を押して「入」にします。
 - 運転ランプが点灯します。 (発信音 ピッ)
 - 音声ガイド 「給湯できます」

- ② 給湯栓を開くと自動的に点火し  表示が点灯します。
給湯栓を閉じると自動的に消火し  表示が消灯します。

■初期運転時の異常現象

- 水道配管工事のときのゴミが機器に流れ込み、フローセンサにひっかかるとバーナは運転しません。フローセンサを調べると共に給水口フィルタを掃除してください。
- 送油経路内の空気抜きが不十分ですと「エラー4」が表示されることがあります。
その場合は、リモコンの運転スイッチまたは本体プリント板のリセットスイッチを押してリセットした後、空気抜き運転をやり直してください。(41ページをお読みください。)

■正常運転の目安

- 給湯栓の開閉により着火、消火が行えること。
- 燃焼させた状態で、リモコンの給湯温度調節の操作で給湯温度が変化すること。
- 异常発煙、異常振動音がないこと。(初め白い煙が出ますが、しばらくすると消えます。)
- 油漏れ、水漏れがないこと。

(運転) —— ふろ —— 13ページもお読みください。

- 循環ポンプへの呼び水をしますので自動スイッチを押して試運転を必ず行ってください。

■運転開始手順

- ①  を押して「入」にします。
 - 運転ランプが点灯します。 (発信音 ピッ)
 - 音声ガイド 「給湯できます」

- ②  を押して「入」にします。
 - 自動ランプが点滅します。 (発信音 ピッ)
 -  表示が3回点滅し、温度表示に戻ります。
 - 音声ガイド 「お湯張りします」

■正常運転の目安

- 自動スイッチを押してから約2分後に浴槽の循環口よりお湯張りを行い、燃焼を開始します。
- 浴槽に設定湯量をお湯張りして設定温度に沸き上げると、自動的に燃焼が停止し、沸き上がりメロディが鳴り、音声ガイドで「おふろが沸きました」とお知らせしたあと、約4時間保温運転します。

試運転

運転停止

- リモコンの  スイッチを押して「切」にします。

インターホンリモコン

(運転スイッチの「入」「切」に関係なく操作できます)

①台所から浴室へお話しするとき

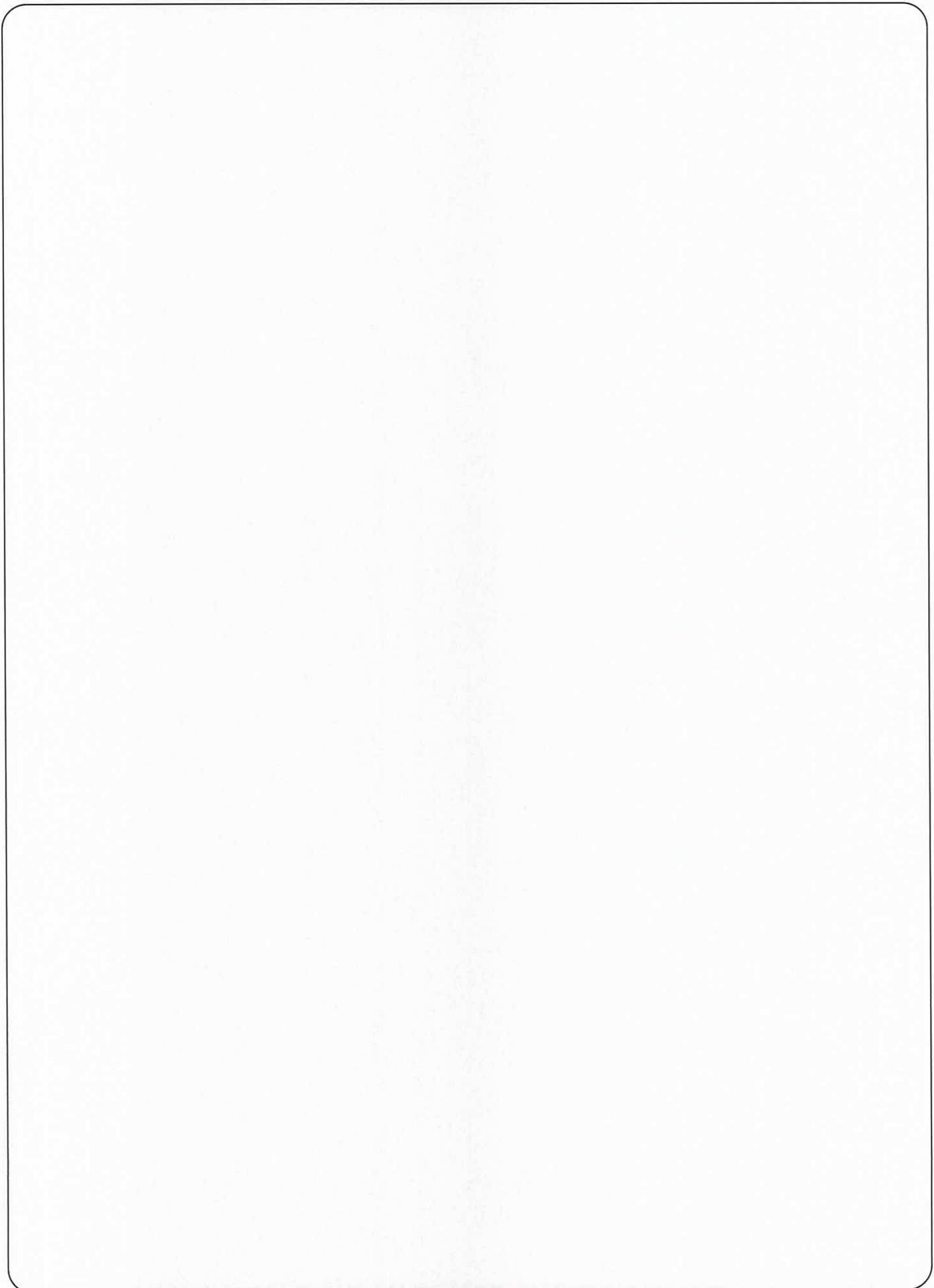
- メインリモコンの通話スイッチを押すと呼出し音が鳴り、「話す」表示になります。
- メインリモコンで話した声が浴室リモコンで聞こえるか確認してください。
- 10秒経過後、通話状態が切替りメインリモコンには「聞く」が表示され、浴室リモコンからの声を聞くことができます。
- 10秒経過後、通話機能を終了します。

②浴室から台所へお話しするとき

- 浴室リモコンの通話スイッチを押すと呼出し音が鳴り、「話す」表示になります。
- 浴室リモコンで話した声がメインリモコンで聞こえるか確認してください。
- 10秒経過後、通話機能を終了します。

—メモ— メモ欄として活用してください。

—メモ— メモ欄として活用してください。

A large, empty rectangular box with rounded corners, occupying most of the page below the title. It is intended for users to write their own notes or memos.

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター

00.0120-919-302

(修理受付専用ダイヤル)

FAX 0120-919-322

受付時間 午前9時～午後7時(日曜、祝祭日は除く)

携帯電話・PHS等からは
最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

北海道地区		札幌支店 旭川営業所 釧路営業所 広帯南北館 北海道地区サービスセンター	札幌市白石区平和通16丁目南1-19 旭川市東旭川南1条2丁目2-5 北見市御丘1丁目1-3 釧路市花園町4-17 帯広市西18条北1丁目17-1 函館市西桔梗町21-2 北海道地区サービスセンター	T003-0028 T078-8261 T090-0056 T085-0038 T080-0048 T041-0824 T003-0873	TEL(011)864-0440(代表) TEL(0166)37-2330(代表) TEL(0157)36-9009(代表) TEL(0154)24-4191(代表) TEL(0155)35-7518(代表) TEL(0138)48-6070(代表) TEL(011)879-2121(代表)	FAX(011)863-3154 FAX(0166)37-2338 FAX(0157)36-5959 FAX(0154)24-0451 FAX(0155)35-7510 FAX(0138)48-6080 FAX(011)871-2400
北東北地区		青森支店 青森地区サービスセンター 八戸支店 八戸地区サービスセンター 弘前支店 弘前地区サービスセンター 盛岡支店 盛岡地区サービスセンター 水沢支店 秋田支店 秋田地区サービスセンター	青森市古館1丁目12-38 青森市古館1丁目12-38 八戸市荒市4丁目4-7 八戸市荒市4丁目4-7 弘前市田園1-2-1 弘前市田園1-2-1 盛岡市門2-1-42 盛岡市門2-1-42 奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79 秋田市泉中央4丁目4-18 秋田市外旭川三千刈109-1	T030-0945 T030-0946 T031-0073 T031-0073 T036-8086 T036-8086 T020-0823 T023-0002 T020-0823 T010-0917 T010-0802	TEL(017)742-8255(代表) TEL(017)743-2971(代表) TEL(017)824-5289(代表) TEL(0178)47-6609(代表) TEL(0172)28-3910(代表) TEL(0172)29-1133 TEL(019)622-4791(代表) TEL(0197)22-4115(代表) TEL(019)604-0281(代表) TEL(018)864-5671(代表) TEL(018)864-5219(代表)	FAX(017)742-8275 FAX(017)743-1118 FAX(0178)45-4290 FAX(0178)71-1344 FAX(0172)28-0191 FAX(0172)29-1133 FAX(019)622-5244 FAX(0197)22-4452 FAX(019)604-0283 FAX(018)864-8468 FAX(018)864-5760
南東北地区		仙台支店 仙山形内山郡南東北地区サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32 山形市東青田3-6-28 酒田市鶴町1-183-1 郡山市龜田1-51-9 仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	T983-0035 T990-2423 T998-0103 T963-8033 T983-0035	TEL(022)235-3181(代表) TEL(023)642-3255(代表) TEL(023)31-0571(代表) TEL(024)938-2240(代表) TEL(022)783-1791(代表)	FAX(022)236-8810 FAX(023)642-3254 FAX(023)31-0581 FAX(024)938-3021 FAX(022)783-1792
関東地区		北関戸支店 つくば支店 太田支店 高崎支店 都城支店 千葉横浜府開拓地区サービスセンター	さいたま市北区宮原町1-674-2 水戸市笠原町653-2 つくば市谷田部6788-19 宇都宮市築瀬瀬町2313 太田市高林東町2375 高崎市問屋町西1-3-22	T331-0812 T310-0852 T305-0861 T321-0933 T373-0825 T370-0007	TEL(048)651-1722(代表) TEL(029)241-2172(代表) TEL(029)839-5325(代表) TEL(028)632-5105(代表) TEL(027)38-5508 TEL(027)361-9139	FAX(048)651-6370 FAX(029)241-4268 FAX(029)836-1913 FAX(028)632-5205 FAX(027)38-5508 FAX(027)361-9139
信越地区		新潟支店 長野支店 松本支店 信越地区サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8 立川市高松町1-22-3 松戸市高島新田95-5 横浜市戸塚区原宿4丁目7-13 山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2 東京都北区豊島8-4-8	T114-0003 T190-0011 T270-2222 T245-0063 T409-3866 T114-0003	TEL(03)3927-1151(代表) TEL(042)519-5271(代表) TEL(047)312-8330(代表) TEL(045)852-4008(代表) TEL(055)268-1567(代表) TEL(03)3911-1131(代表)	FAX(03)3927-1160 FAX(042)528-2382 FAX(047)312-8338 FAX(045)852-5540 FAX(055)268-1569 FAX(03)3927-1130
北陸地区		金沢支店 富山支店 福井支店 北陸地区サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25 富山市田中町2-3-15 福井市和田東1-607 金沢市駅西新町1-1-25	T920-0027 T930-0985 T918-8237 T920-0027	TEL(076)260-0567(代表) TEL(076)444-0567(代表) TEL(076)23-0567(代表) TEL(076)260-0038(代表)	FAX(076)260-0775 FAX(076)444-0611 FAX(076)23-0580 FAX(076)260-0738
東海地区		名古屋支店 岐阜支店 静岡支店 浜松支店 東海地区サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16-11 岐阜市六条南2-7-8 静岡市駿河区高松2-15-30 沼津市西椎路888-1 津市高茶屋3-29-38 名古屋市熱田区桜田町16-11	T456-0004 T500-8358 T422-8034 T410-0303 T514-0819 T456-0004	TEL(052)746-6600(代表) TEL(058)268-7555(代表) TEL(054)238-0005(代表) TEL(055)968-6210(代表) TEL(059)234-8471(代表) TEL(052)746-6603(代表)	FAX(052)884-6551 FAX(058)268-7550 FAX(054)238-0006 FAX(055)968-6212 FAX(059)234-8472 FAX(052)884-6554
近畿・四国地区		大阪支店 京都支店 神戸支店 高松支店 近畿・四国地区サービスセンター	吹田市南金田1-8-47 彦根市正法寺町南出78 京都市伏見区竹田殷川原町211 福知山市荒河町68 高松市今里町1-8-5 松山市西道生町780-3 吹田市南金田1-8-47	T564-0044 T522-0024 T612-8414 T620-0061 T651-2133 T760-0078 T791-8044 T564-0044	TEL(06)6380-2111(代表) TEL(0749)24-6239(代表) TEL(075)643-0870 TEL(0773)22-0827(代表) TEL(078)922-2431(代表) TEL(087)835-1711(代表) TEL(089)968-7351(代表) TEL(06)6386-5570(代表)	FAX(06)6386-7262 FAX(0749)26-2116 FAX(075)643-0870 FAX(0773)23-7592 FAX(078)922-2438 FAX(087)835-0160 FAX(089)968-7353 FAX(06)6386-5588
中国地区		広島支店 子山支店 岡山支店 徳山支店 中国地区サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20 米子市久美町235-1 岡山市北区辰巳35-103 周南市德山字一ノ井手5631-4 広島市安佐南区祇園3-27-20	T731-0138 T683-0035 T700-0976 T745-0882 T731-0138	TEL(082)871-3310(代表) TEL(0859)33-8157(代表) TEL(086)243-7751(代表) TEL(084)22-5567(代表) TEL(082)871-3315(代表)	FAX(082)871-3306 FAX(0859)23-0709 FAX(086)243-7191 FAX(084)22-5589 FAX(082)871-0272
九州地区		福岡支店 九崎支店 大分支店 宮崎支店 鹿児島支店 九州地区サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40 北九州市小倉北区愛宕2-6-4 長崎県西彼杵郡時津町左原郷浜田74-1 熊本市東区屋上1-11-12 大分市三佐1-19-7 宮崎市霧島3-59-2 鹿児島市田上7-16-5 福岡市博多区東比恵2-2-40	T812-0007 T803-0828 T851-2106 T862-0913 T870-0108 T880-0032 T890-0034 T812-0007	TEL(092)474-5771(代表) TEL(093)592-8611(代表) TEL(095)882-7710(代表) TEL(096)367-7361(代表) TEL(097)523-5162(代表) TEL(098)29-1680(代表) TEL(099)281-1321(代表) TEL(092)474-6001(代表)	FAX(092)474-5775 FAX(093)592-8666 FAX(095)882-7767 FAX(096)369-6323 FAX(097)523-5162 FAX(098)25-0685 FAX(099)281-1252 FAX(092)474-6414
沖縄地区		沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	T901-2227	TEL(098)897-5677(代表)	FAX(098)897-5679

08032102

株式会社 コロナ

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

TEL(0256)32-2111 <代表>

ホームページ http://www.corona.co.jp/

石油給湯機付ふろがま

無料修理保証書

品番	FDW-EF470AXPMS FDW-EF470AXPMSP		
保証対象部分	保証期間	部品代	工料など
本体	1年	無料	

- 本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
- お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがありますので、ご了承ください。

★お買い上げ日	平成 年 月 日	住所・店名
★ お客様	ご芳名	★ 販売店
	ご住所〒()	
	電話()	
見本		電話()

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
(無料修理規定)をよくお読みください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にお問い合わせください。
- 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質（温泉水、地下水、井戸水等）、指定外の使用電源（電圧、周波数）および燃料、給水の供給事情による故障および損傷
- 指定外の燃料、不純燃料の使用による故障および損傷
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
 - 水垢もしくは凍結による故障および損傷
 - 当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障および損傷
 - 当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷
 - 据付け工事の不備による故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

製造元 株式会社 コロナ

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL (0256) 32-2111